

第 3 3 回塩尻市地域公共交通会議兼第 1 5 回塩尻市地域公共交通協議会 次第

日 時：令和 6 年 6 月 2 5 日（火曜日）

午後 1 時 3 0 分～

場 所：保健福祉センター 3 階 市民交流室

1 開 会

2 会 長 挨 拶

3 議 事

報告案件

（１）令和 5 年度地域振興バスの運行状況について【資料No 1】

（２）塩尻市地域公共交通計画事業効果の評価について【資料No 2】

協議案件

（１）令和 6 年度のるーと塩尻実証運行計画（案）について【資料No 3】

（２）令和 7 年度生活交通確保維持改善計画（案）について【資料No 4】

（３）地域振興バスダイヤ改正及び経路見直し方針（案）について【資料No 5】

4 そ の 他

5 閉 会

塩尻市地域公共交通会議兼塩尻市地域公共交通協議会 名簿

NO	区分	所属	役職	氏 名
	主宰	塩尻市	会長	百瀬 敬
1	一般乗合旅客自動車運送事業者	アルピコタクシー(株)松本支社	支社長	横内 昌彦
2	一般乗合旅客自動車運送事業者（元）	アルピコ交通(株)バス事業部松本営業所	所長	藤本 忠和
3	一般旅客自動車運送事業者が組織する団体	塩尻地区タクシー協議会	代表	柳沢 賢一
4	一般旅客自動車運送事業者	辰野タクシー(株)	代表取締役	飯澤 和也
5	一般乗合旅客自動車運送事業者の運転手が組織する団体	アルピコタクシー労働組合	塩尻副支部長	有賀 弘
6	市内で運行している路線バス事業者	大新東株式会社松本営業所	所長	石割 貴志
7	住民又は利用者の代表者	大門地区区長会	会長	伊藤 秀文
8	住民又は利用者の代表者	塩尻東地区区長会	会長	松尾 伸吉
9	住民又は利用者の代表者	片丘地区区長会	会長	河野 文夫
10	住民又は利用者の代表者	広丘地区区長会	会長	保科 隆保
11	住民又は利用者の代表者	高出地区区長会	会長	降旗 一彦
12	住民又は利用者の代表者	吉田地区区長会	会長	神澤 隆夫
13	住民又は利用者の代表者	洗馬地区区長会	会長	大熊 陽一
14	住民又は利用者の代表者	宗賀地区区長会	会長	永田 公由
15	住民又は利用者の代表者	北小野地区区長会	会長	熊井 保
16	住民又は利用者の代表者	檜川地区区長会	会長	小嶋 正則
17	住民又は利用者の代表者	塩尻市友愛クラブ	副会長	小林 茂治
18	住民又は利用者の代表者	辰野町小野区	区長	小野 耕一
19	学識経験者	合同会社萬創社/名古屋大学	代表/客員准教授	福本 雅之
20	国土交通省北陸信越運輸局長又はその指名する者	国土交通省北陸信越運輸局交通企画課	課長	新倉 孝礼
21	国土交通省北陸信越運輸局長又はその指名する者	国土交通省北陸信越運輸局 長野運輸支局	首席運輸企画専門官	山岸 康範
22	道路管理者	国土交通省関東地方整備局 長野国道事務所	副所長	小松 輝男
23	道路管理者	飯田国道事務所 未曾維持出張所	所長	小林 知成
24	道路管理者	松本建設事務所 維持管理課	課長	中川 文晴
25	道路管理者	松本市 建設部維持課	課長	羽山 和秀
26	道路管理者	辰野町 建設水道課	課長	熊谷 健司
27	道路管理者	塩尻市 建設部建設課	課長	武居 寿明
28	塩尻警察署	塩尻警察署 交通課	課長	上林 浩
29	長野県の関係行政機関の職員	長野県 企画振興部交通政策課	課長	丸山 正徳
30	長野県の関係行政機関の職員	松本地域振興局 企画振興課	課長	松島 弘子
31	市職員	塩尻市 建設部	部長	曾根原 博
32	その他市長が必要と認める者	長野県バス協会	専務理事	松井 道夫
33	その他市長が必要と認める者	東日本旅客鉄道（株）塩尻駅	駅長	長瀬 孝
34	その他市長が必要と認める者	塩尻市PTA連合会	会長	関澤 正信
35	その他市長が必要と認める者	塩尻市社会福祉協議会	会長	伊藤 高良
36	その他市長が必要と認める者	塩尻商工会議所	副会頭	清沢 和恵
37	その他市長が必要と認める者	塩尻市観光協会	会長	林 修一

塩尻市地域公共交通協議会事務局

事務局長 塩尻市都市計画課長 米山 進

塩尻市都市計画課、企画課、地域共生推進課、福祉支援課、先端産業振興室、観光プロモーション課、学校教育課、保育課

報告案件(1)

令和5年度地域振興バスの運行状況について

1. 「すてっぷくん」の運行状況

2. 「のるーと塩尻」の運行状況

1 - 1. 令和5年度地域振興バス『すてっぷくん』乗車人数集計（路線別）

単位（人）

	4条路線(アルピコタクシー(株))							自家用有償運送 (大新東(株))		合計
	片丘線	洗馬線	宗賀線	広丘駅 循環線	塩尻 北部線	北小野線	小計	檜川線	小計	
4月	447	976	985	921	939	897	5,165	1,799	1,799	6,964
5月	448	1,018	1,078	928	877	869	5,218	1,808	1,808	7,026
6月	464	1,066	1,038	1,052	1,070	951	5,641	1,949	1,949	7,590
7月	442	972	1,093	977	1,093	911	5,488	1,905	1,905	7,393
8月	555	1,047	1,099	986	1,080	943	5,710	1,967	1,967	7,677
9月	514	1,026	1,045	972	1,046	926	5,529	1,900	1,900	7,429
10月	548	998	1,039	934	1,050	1,026	5,595	2,014	2,014	7,609
11月	467	953	937	839	941	957	5,094	1,889	1,889	6,983
12月	503	956	1,065	842	955	992	5,313	1,808	1,808	7,121
1月	420	834	830	682	892	883	4,541	1,647	1,647	6,188
2月	503	880	879	768	902	834	4,766	1,638	1,638	6,404
3月	535	890	998	848	983	923	5,177	1,897	1,897	7,074
合 計	5,846	11,616	12,086	10,749	11,828	11,112	63,237	22,221	22,221	85,458
1日あたり平均乗車人数	19.88	39.51	41.11	36.56	40.23	37.80	215.09	61.55	61.55	138.32
1便あたり平均乗車人数	3.98	7.90	7.47	7.31	10.06	9.45	7.70	11.19	11.19	9.44

< 前年との比較 >

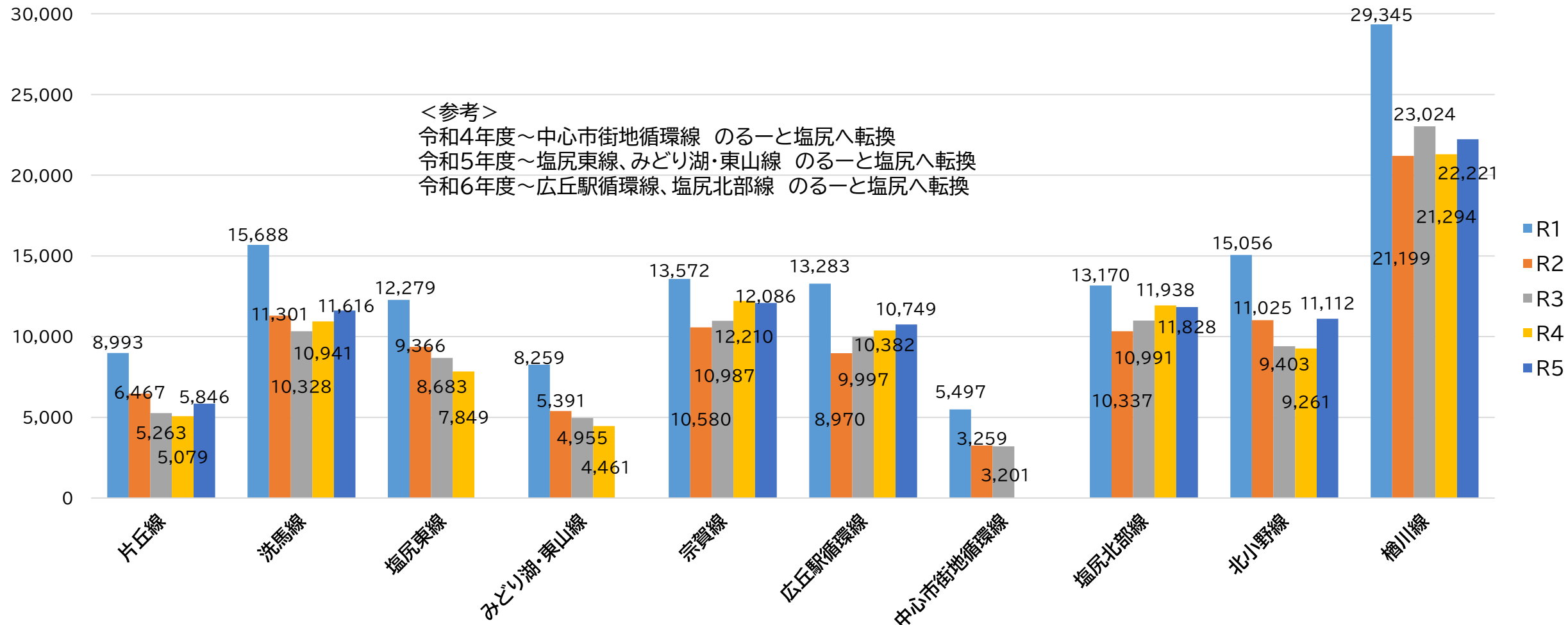
	4条路線(アルピコタクシー(株))							自家用有償運送 (大新東(株))		合計
	片丘線	洗馬線	宗賀線	広丘駅 循環線	塩尻 北部線	北小野線	小計	檜川線	小計	
【R4】乗車総人数	5,079	10,941	12,210	10,382	11,938	9,261	59,811	21,294	21,294	81,105
【R5】乗車総人数	5,846	11,616	12,086	10,749	11,828	11,112	63,237	22,221	22,221	85,458
増減	767	675	▲ 124	367	▲ 110	1,851	3,426	927	927	4,353
対前年比 (%)	115.10	106.17	98.98	103.53	99.08	119.99	105.73	104.35	104.35	105.37
【R4】1便当たり乗車人数	3.46	7.44	7.55	7.06	10.15	7.88	7.26	10.72	10.72	8.99
【R5】1便当たり乗車人数	3.98	7.90	7.47	7.31	10.06	9.45	7.70	11.19	11.19	9.44
増減	0.52	0.46	▲ 0.08	0.25	▲ 0.09	1.57	0.44	0.47	0.47	0.45

1-1. 令和5年度地域振興バス『すてっぷくん』乗車人数集計（路線別）

- ✓ 乗車総人数は市内7路線のうち5路線が前年度を上回り、令和4年度の81,105人に対して令和5年度は85,458人と対前年比105.37%、4,353人の増加となったことから、徐々にではあるがコロナ禍前の水準に戻りつつある。
- ✓ 月別の乗車人数に着目すると、6月から10月までの暖かい時期は利用者が増加する傾向にあるが、1月、2月といった市内で最も冷え込みが激しい時期は利用者が落ち込んでしまう。冬場に外出を控える傾向はやむを得ないことではあるが、落ち込みを最低限に抑えることが課題である。
- ✓ 路線別に見ると、北小野線が前年度比119.99%と市内7路線の中で利用者が一番増えており、続いて片丘線の115.10%、洗馬線の106.17%、檜川線の104.35%となっている。今回の結果より農山村部から市街地への移動実態が増加傾向にあることが分かる。
- ✓ 前年より利用者が減った宗賀線は、1日あたりの平均乗車人数に着目すると、比較的高い水準を保っていることから、一定の利用者が見込めると考える。
- ✓ 片丘線は前年より利用者が増えているが、1日あたりの平均乗車人数及び1便あたりの平均乗車人数の両方が他の路線と比較して特筆して数字が低い。本地区においては、本年10月よりのるーと塩尻の実証運行を予定していることから、最適な交通モードの在り方を検討していく必要がある。

1 - 2. 地域振興バス『すてっぷくん』 乗車人数 路線別推移（令和元年～令和5年）

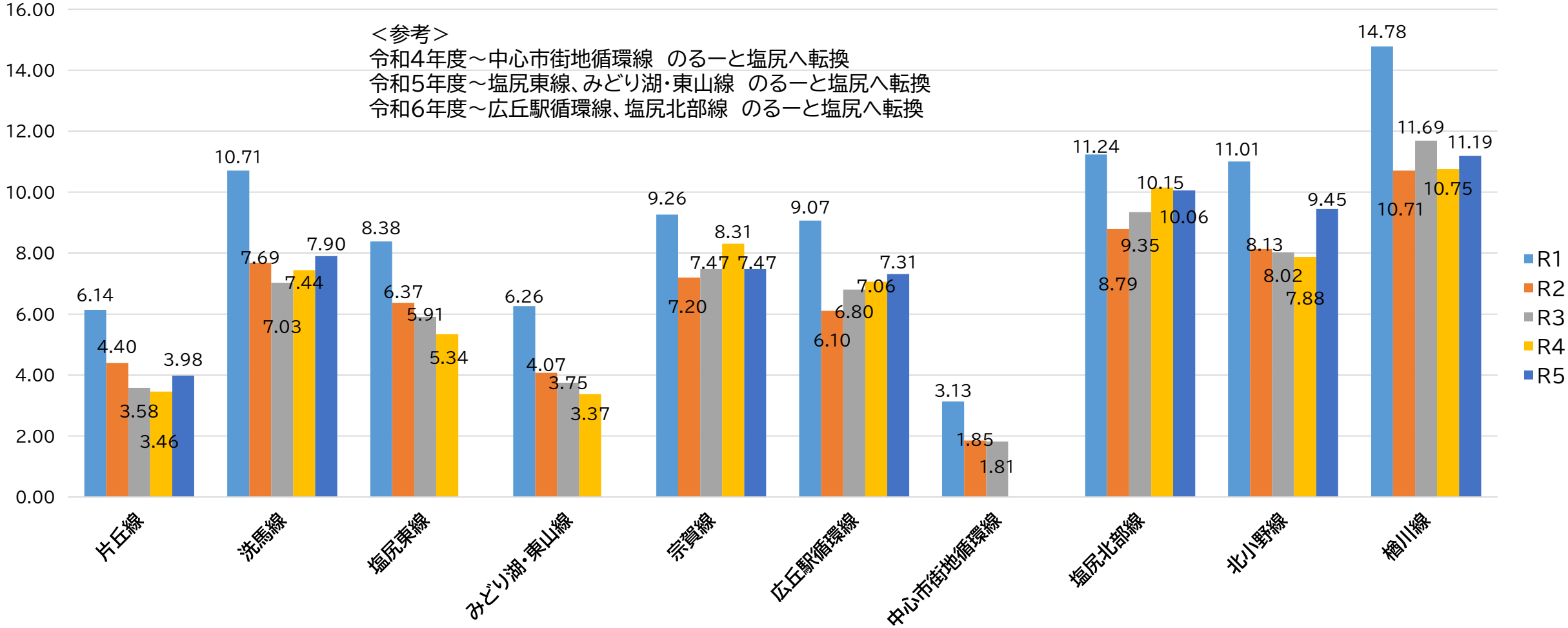
単位（人）



- ✓ 各路線とも令和元年に利用者が一番多く、その後、コロナ禍の影響により令和2年は一気に利用者が落ち込んだ。
- ✓ 現在運行している路線に着目すると、片丘線、洗馬線、宗賀線、北小野線は同様の傾向が見られ、コロナ禍で落ち込んだ利用者が徐々に回復傾向にある。（樽川線は運行日数が他路線と比べて多いため乗車人数も一番多い）
- ✓ 利用者が回復しているひとつの要因としてコロナ禍で外出を控えていた農山村地域にお住いの高齢者の方々が、公共交通を利用して外出する機会を増やしていることが考えられる。

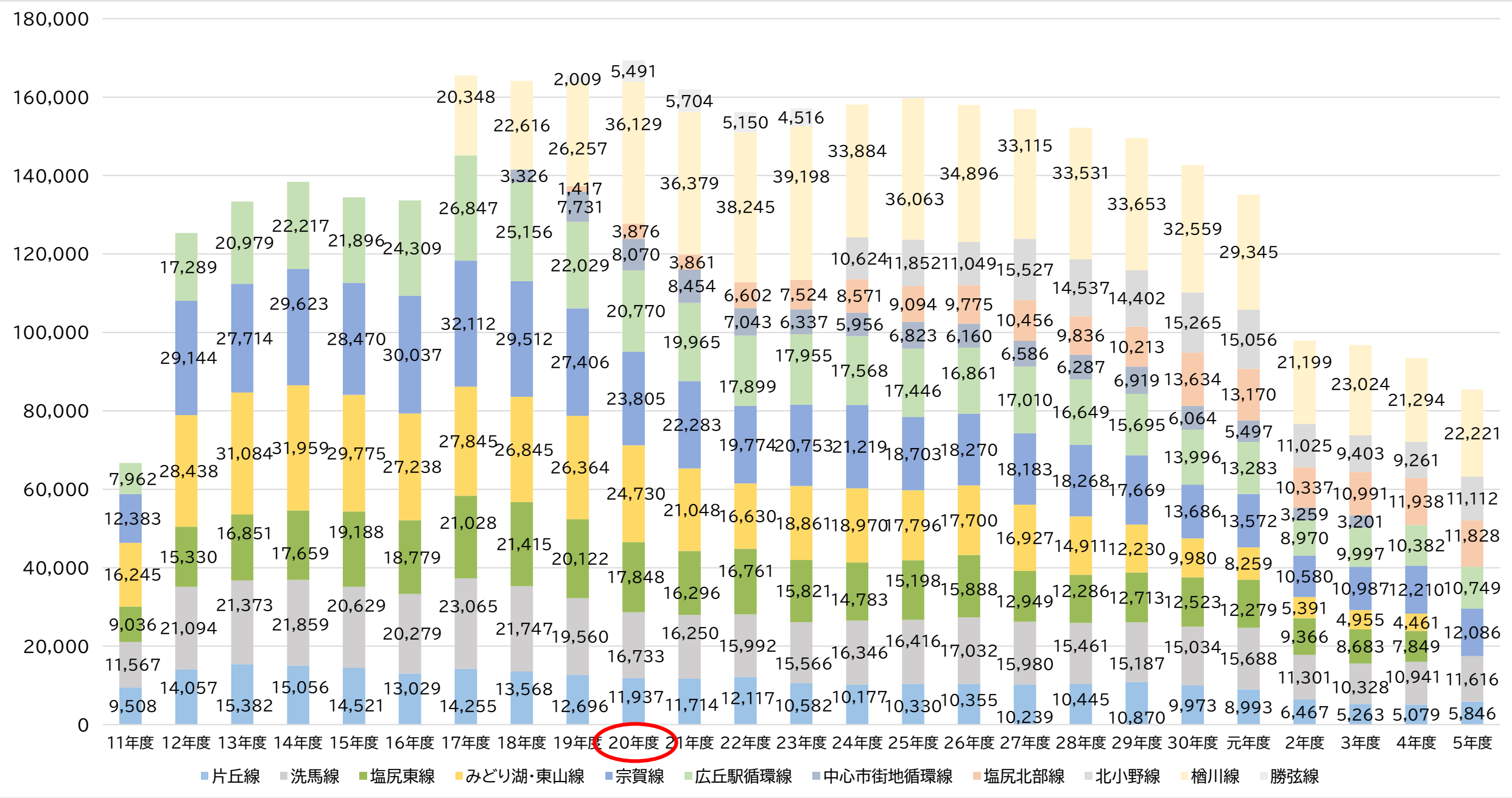
1 - 3. 地域振興バス『すてっぷくん』 1便あたり乗車人数 路線別推移（令和元年～令和5年）

単位（人）



- ✓ 各路線とも令和元年は平均10人を超える路線が4路線であったが、令和5年は2路線まで減少している。
- ✓ コロナ禍で落ち込んでいた利用者が徐々に回復傾向にあり、令和5年は檜川や北小野といった農山村部から市街地を結ぶ長距離区間の路線は平均9人を超えていることから、大量輸送が可能なバスの運行は必須であるという結果が出ている。

年 度	4条路線									小計	自家用有償運行		小計	合計
	片丘線	洗馬線	塩尻東線	みどり湖・東山線	宗賀線	広丘駅循環線	中心市街地循環線	塩尻北部線	北小野線		檜川線	勝弦線		
11年度	9,508	11,567	9,036	16,245	12,383	7,962				66,701				66,701
12年度	14,057	21,094	15,330	28,438	29,144	17,289				125,352				125,352
13年度	15,382	21,373	16,851	31,084	27,714	20,979				133,383				133,383
14年度	15,056	21,859	17,659	31,959	29,623	22,217				138,373				138,373
15年度	14,521	20,629	19,188	29,775	28,470	21,896				134,479				134,479
16年度	13,029	20,279	18,779	27,238	30,037	24,309				133,671				133,671
17年度	14,255	23,065	21,028	27,845	32,112	26,847				145,152	20,348		20,348	165,500
18年度	13,568	21,747	21,415	26,845	29,512	25,156	3,326			141,569	22,616		22,616	164,185
19年度	12,696	19,560	20,122	26,364	27,406	22,029	7,731	1,417		137,325	26,257	2,009	28,266	165,591
20年度	11,937	16,733	17,848	24,730	23,805	20,770	8,070	3,876		127,769	36,129	5,491	41,620	169,389
21年度	11,714	16,250	16,296	21,048	22,283	19,965	8,454	3,861		119,871	36,379	5,704	42,083	161,954
22年度	12,117	15,992	16,761	16,630	19,774	17,899	7,043	6,602		112,818	38,245	5,150	43,395	156,213
23年度	10,582	15,566	15,821	18,861	20,753	17,955	6,337	7,524		113,399	39,198	4,516	43,714	157,113
24年度	10,177	16,346	14,783	18,970	21,219	17,568	5,956	8,571	10,624	124,214	33,884		33,884	158,098
25年度	10,330	16,416	15,198	17,796	18,703	17,446	6,823	9,094	11,852	123,658	36,063		36,063	159,721
26年度	10,355	17,032	15,888	17,700	18,270	16,861	6,160	9,775	11,049	123,090	34,896		34,896	157,986
27年度	10,239	15,980	12,949	16,927	18,183	17,010	6,586	10,456	15,527	123,857	33,115		33,115	156,972
28年度	10,445	15,461	12,286	14,911	18,268	16,649	6,287	9,836	14,537	118,680	33,531		33,531	152,211
29年度	10,870	15,187	12,713	12,230	17,669	15,695	6,919	10,213	14,402	115,898	33,653		33,653	149,551
30年度	9,973	15,034	12,523	9,980	13,686	13,996	6,064	13,634	15,265	110,155	32,559		32,559	142,714
元年度	8,993	15,688	12,279	8,259	13,572	13,283	5,497	13,170	15,056	105,797	29,345		29,345	135,142
2年度	6,467	11,301	9,366	5,391	10,580	8,970	3,259	10,337	11,025	76,696	21,199		21,199	97,895
3年度	5,263	10,328	8,683	4,955	10,987	9,997	3,201	10,991	9,403	73,808	23,024		23,024	96,832
4年度	5,079	10,941	7,849	4,461	12,210	10,382		11,938	9,261	72,121	21,294		21,294	93,415
5年度	5,846	11,616			12,086	10,749		11,828	11,112	63,237	22,221		22,221	85,458
計	272,459	417,044	360,651	458,642	518,449	433,879	97,713	153,123	149,113	2,861,073	573,956	22,870	596,826	3,457,899
これまでの乗客数ピーク時の人数														



1-4. 令和5年度フリー降車制度 利用状況

<フリー降車制度とは・・>

令和4年5月1日のダイヤ改正に伴い開始したサービスで、利用者がバス停留所以外の任意の場所で降車を可能とする制度です。利用される際は乗車時に運転手へあらかじめ降車場所を伝える必要があります。現在、利用可能な路線は北小野線、洗馬線、宗賀線の3路線となっています。

<令和5年度実績> 単位(人)

	北小野線	洗馬線	宗賀線
4月	18	1	4
5月	19	22	3
6月	26	22	1
7月	20	1	11
8月	18	3	8
9月	23	2	10
10月	21	1	5
11月	16	1	6
12月	23	0	6
1月	18	0	3
2月	15	2	7
3月	16	0	12
小 計	233	55	76
合 計	364		
1日あたり平均乗車人数	0.79	0.19	0.26
1便あたり平均乗車人数	0.20	0.04	0.05
フリー降車区間距離(km)	11.32	14.23	2.17

<前年との比較> 単位(人)

	北小野線	洗馬線	宗賀線	みどり湖・東山線	合計
【R4】乗車総人数	146	49	18	16	229
【R5】乗車総人数	233	55	76		364
増減	87	6	58	▲ 16	135
対前年比 (%)	159.59	112.24	422.22		694.05
【R4】1便当たり乗車人数	0.12	0.03	0.01	0.01	0.17
【R5】1便当たり乗車人数	0.20	0.04	0.05		0.29
増減	0.08	0.01	0.04	▲ 0.01	0.12

※みどり湖・東山線は令和5年4月1日よりのるーと塩尻へ転換したため令和5年度の実績はなし

- ✓ 3路線全てで前年を上回る実績となったため、制度自体が利用者へ根付きつつあると実感している。
- ✓ 北小野線の利用が全体の64%を占めており利用率が高くなっている。一方で洗馬線は区間が長いにも関わらず利用率が低いため、更なる周知・PRが必要である。

1 - 5. 運行委託料

単位（円）

年度	アルピコタクシー(株)	大新東(株)	合計
令和4年度	71,964,229	21,806,400	93,770,629
令和5年度	60,428,919	22,783,200	83,212,119
増減	▲11,535,310	976,800	▲10,558,510

< 参考 > 運行委託料の算出方法
アルピコタクシー(株)：運行経費－運賃収入
大新東(株)：総運行経費

1 - 6. 運行経費

単位（千円）

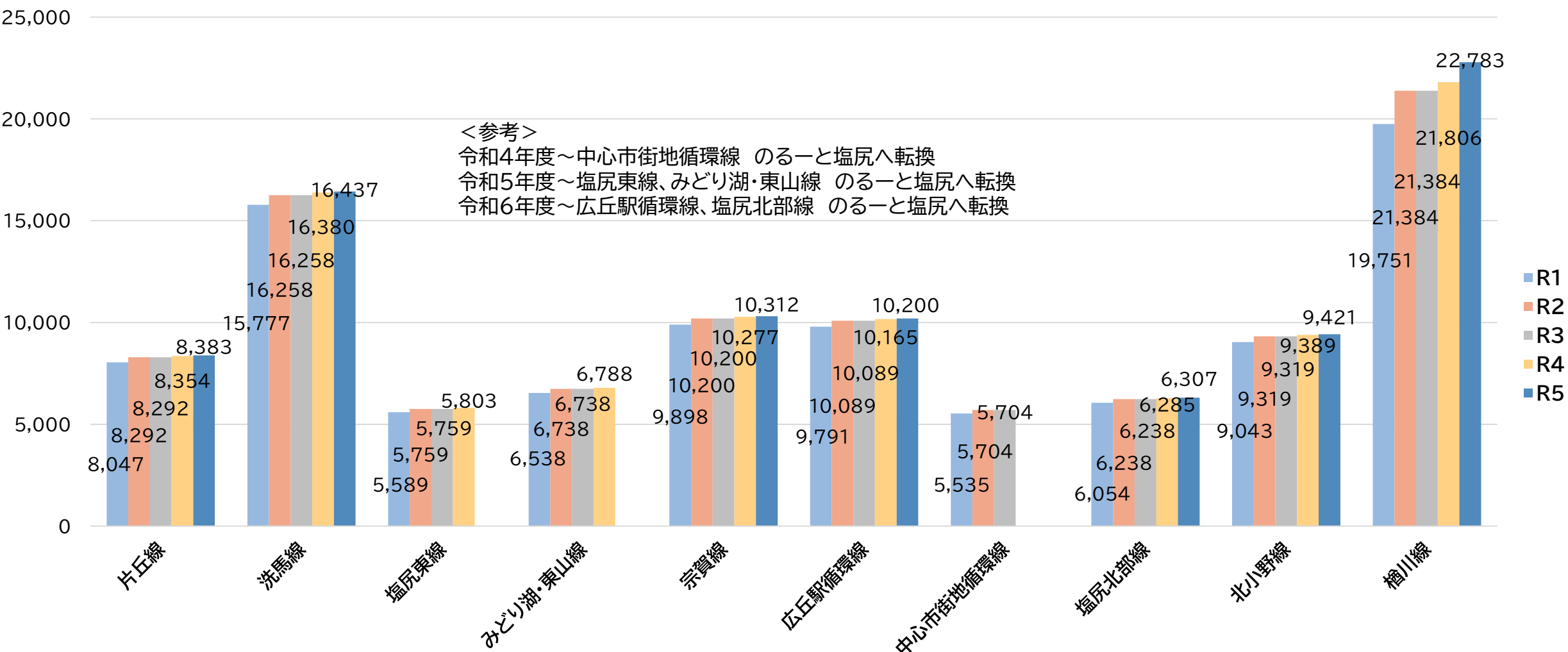
年度	アルピコタクシー(株)	大新東(株)	合計
令和4年度	73,442	21,806	95,248
令和5年度	61,061	22,783	83,844
増減	▲12,381	977	▲11,404

< 参考 > アルピコタクシー(株) 運行路線数
令和4年度：8路線
令和5年度：6路線

- ✓ 市から事業者へ支払う運行委託料は、アルピコタクシー(株)が運行する路線がのるーと塩尻へ転換したことによる路線減少もあり、令和4年度と比較して令和5年度は約1,055万円の減となった。
- ✓ 運行委託料全体の支払いは減っているが、社会情勢の影響による人件費の増加や燃料費の高騰で運行経費自体は上がっている。そのため、檜川線を運行する大新東(株)に対する運行委託料の支払いは前年より増加している。

1 - 7. 運行経費 路線別推移（令和元年～令和5年）

単位（千円）



- ✓ アルピコタクシー(株)が運行する檜川線を除く9路線は、毎年割合は大きく変わらないものの、運行距離が長く1日の運行回数が多い洗馬線は全体に占める運行経費の割合が高い。
- ✓ 社会情勢の影響やすてっぷくんの路線数減少に伴う運賃収入の減少で、路線数が減っても運行経費は増加している。

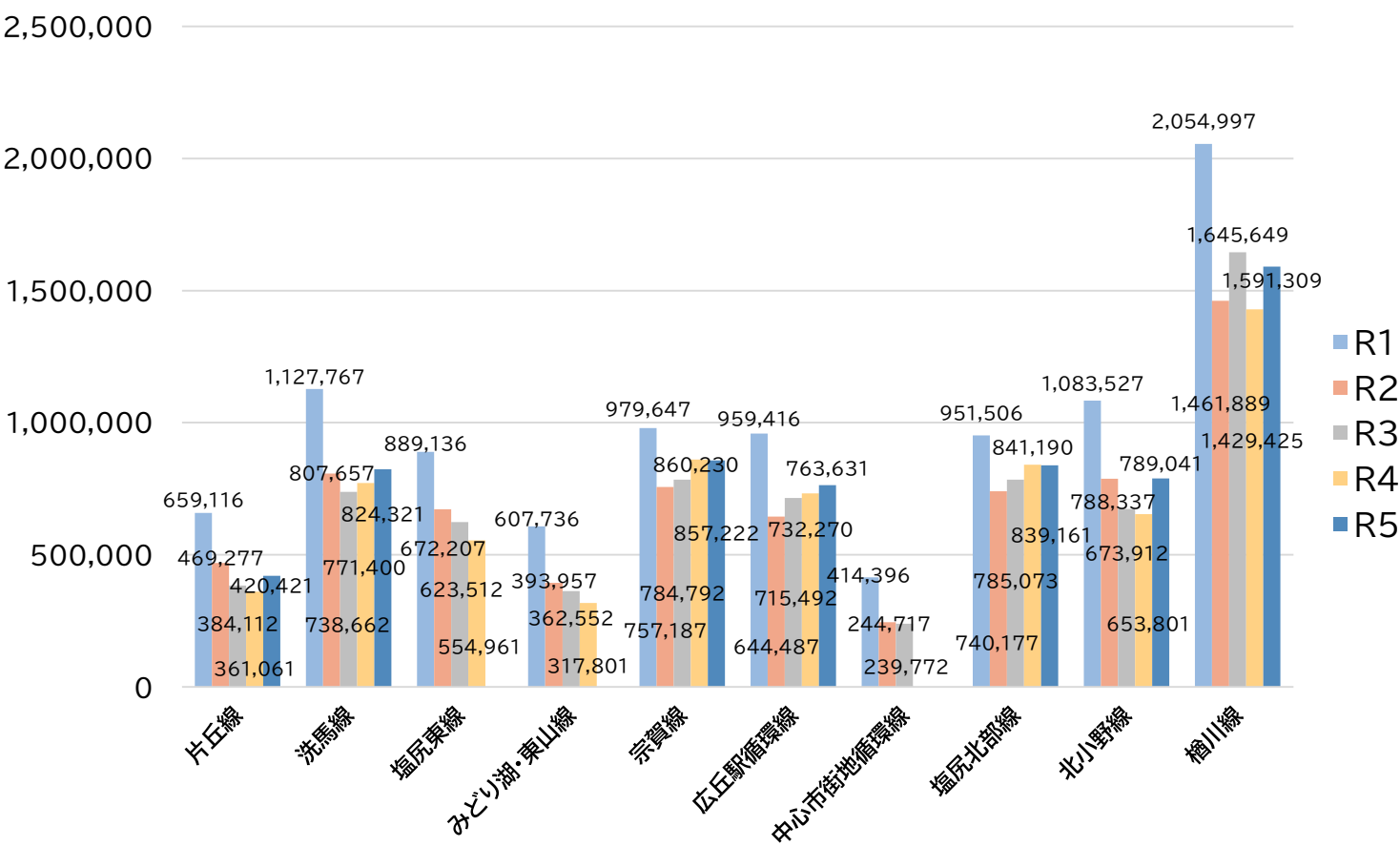
1 - 8. 運賃収入について

単位（円）

年度	アルピコタクシー(株)	大新東(株)	合計
令和4年度	5,092,714	1,429,425	6,522,139
令和5年度	4,493,797	1,591,309	6,085,106
増減	▲598,917	161,884	▲437,033

<参考> アルピコタクシー(株) 運行路線数
令和4年度：8路線
令和5年度：6路線

1 - 9. 運賃収入 路線別推移（令和元年～令和5年）



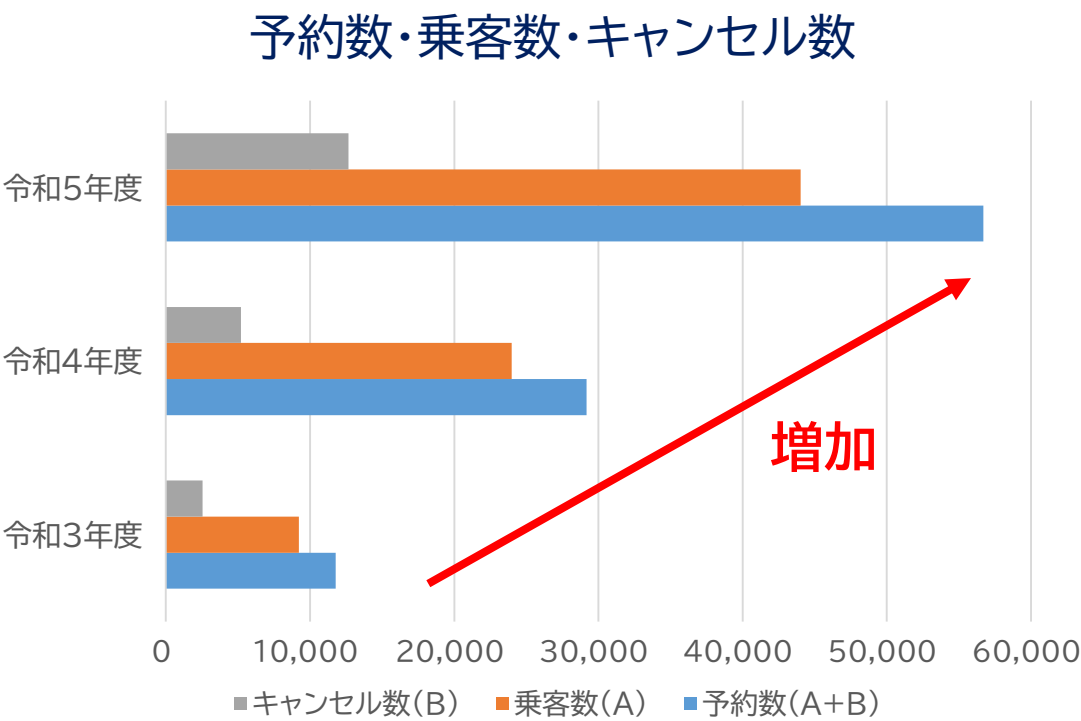
- ✓ 利用者は現金利用が約7割、回数券や高齢者の運転免許返納時に配布している共通利用券の利用が約3割となっており、今回の運賃収入においては現金利用者を対象に金額を算出している。
- ✓ 運賃収入は利用者数とイコールになっているため、ひとつの路線が特筆して多いという傾向はない。
- ✓ 洗馬線においては、運行経費の割合が大きいにも関わらず、他の路線より運賃収入が少ないため、運行に係る負担が大きくなっている。

1. 「すてっぷくん」の運行状況

2. 「のるーと塩尻」の運行状況

2-1. 令和5年度地域振興バス『のるーと塩尻』予約数・乗客数・キャンセル数

- ✓ 地域振興バスの新たな交通モードである「のるーと塩尻」は令和3年度(10月～)から実証運行を開始。
- ✓ 令和4年4月から地域振興バスすてっぷくん「中心市街地循環線」の代替として本格運行を開始。同年10月からは地域振興バスすてっぷくん「みどり湖・東山線」「塩尻東線」と「のるーと塩尻」の機能代替を検証。令和3年度比で乗客数は2.6倍増。
- ✓ 令和5年4月から「みどり湖・東山線」「塩尻東線」に代替して「のるーと塩尻」の本格運行を開始。同年10月からは広丘・吉田地区で実証運行を開始。令和4年度比で乗客数は1.8倍増。



令和5年度地域振興バス「のるーと塩尻」			単位(人)
	令和3年度	令和4年度	令和5年度
予約数(A+B)	11,767	29,183	56,706
乗客数(A)	9,219	23,978	44,034
キャンセル数(B)	2,548	5,205	12,672



2-2. 令和5年度地域振興バス『のるーと塩尻』運行経費・国補助活用実績

- ✓ 地域振興バスの新たな交通モードである「のるーと塩尻」は令和3年度(10月～)から実証運行を開始。費用の3割強について国補助を活用。
- ✓ 実証運行開始後、令和4年4月から地域振興バスすてっぷくん「中心市街地循環線」の代替として本格運行を開始。同年10月からは地域振興バスすてっぷくん「みどり湖・東山線」「塩尻東線」と「のるーと塩尻」の機能代替を検証。実証運行に係る費用の5割について国補助を活用。
- ✓ 令和5年4月から「みどり湖・東山線」「塩尻東線」に代替して「のるーと塩尻」の本格運行を開始。同年10月からは広丘・吉田地区で実証運行を開始。実証運行に係る費用の5割について国補助を活用。

単位(千円)

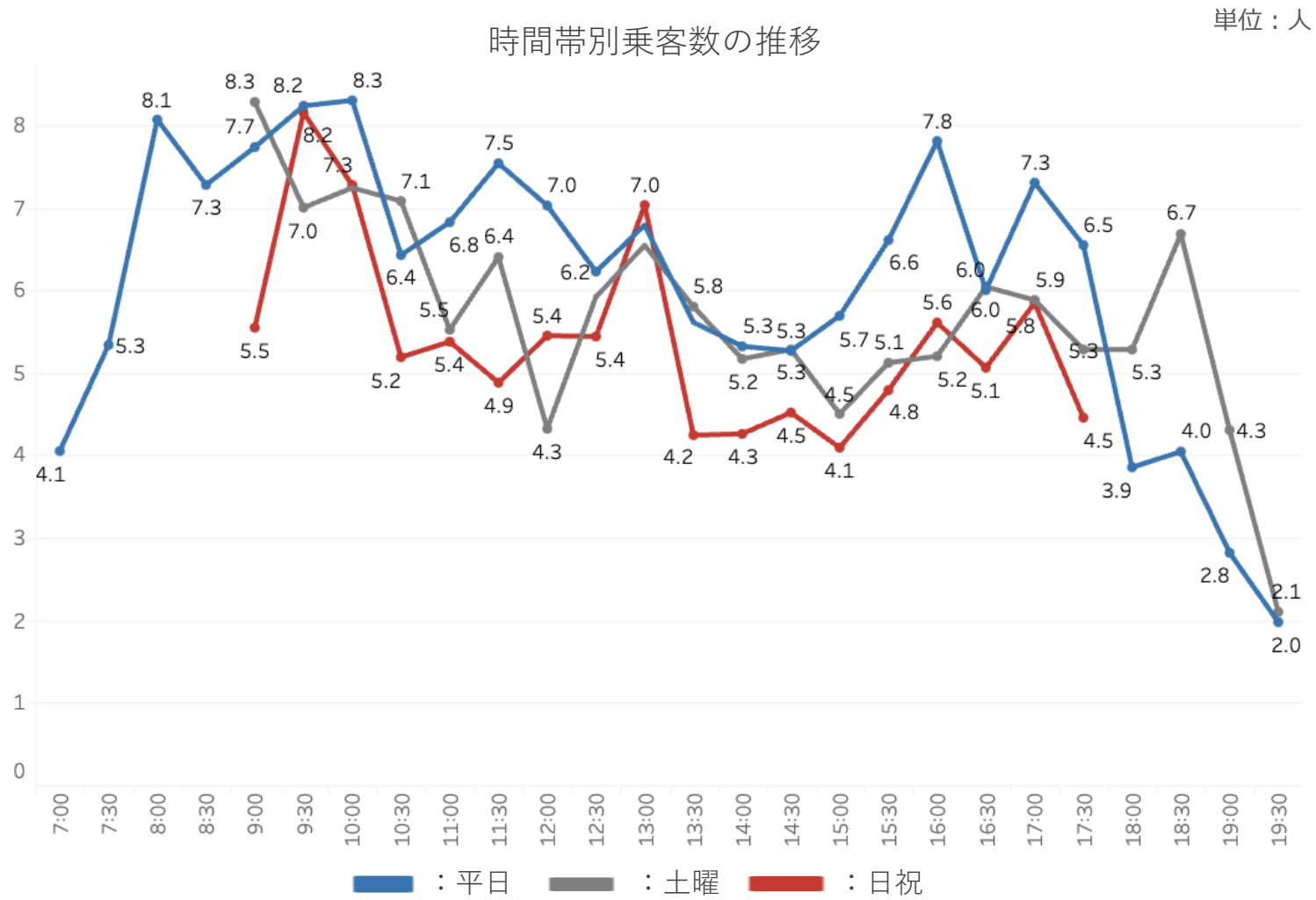
	令和3年度	令和4年度	令和5年度
本格運行	-	41,151	58,223
実証運行	40,940	19,500	26,662
国補助 (地方創生推進交付金・ デジタル田園都市国家構想交付金)	13,320	9,750	13,330



2-3. 令和5年度地域振興バス『のるーと塩尻』実証運行実績

時間帯別乗客数の推移（日次）

- ✓ 全曜日に共通して朝9時前後での利用が多い傾向にあります。
- ✓ その他平日は16時ごろ、土曜日は18時半、日曜日は13時ごろピーク時間があります。



- ✓ 広丘・吉田エリア実証期間(令和5年10月～令和6年3月末)の乗車・降車ゾーン別に実績を記載。
- ✓ 広丘・吉田エリアからの乗車、広丘・吉田エリアへの降車に係る移動が全体の約3割を占めています。
(総乗客数:25,057人)

乗車ゾーン

降車ゾーン						集計期間:23年10/1～24年3/31
	塩尻東	桔梗ヶ原	広丘吉田	広丘高出	大門	合計
塩尻東	482	382	583	471	2800	4718
桔梗ヶ原	234	280	428	363	948	2253
広丘吉田	418	342	2134	705	1366	4965
広丘高出	358	246	854	667	2432	4557
大門	2431	823	1213	2151	1946	8564
合計	3923	2073	5212	4357	9492	25057

- (留意点)
- ✓ 洗馬ゾーンは、桔梗ヶ原ゾーンに含む
 - ✓ 東山霊園ゾーンは、塩尻東ゾーンに含む
 - ✓ 松本医療センター・村井駅は広丘・吉田ゾーンに含む
 - ✓ 少数点第一位を四捨五入

✓ 乗降場所・ミーティングポイント利用のTOP35において、広丘・吉田エリアは駅や病院を中心にランクイン。

乗車MP TOP35 (乗客数)

1	大-1 塩尻駅東口	3,004
2	大-3 えんぱーく	1,188
3	大-4 ウイングロード	1,041
4	東-30 松原区ふれあい広場	601
5	広-37 GAZA（ギャザ）北口正面	568
6	大-2 塩尻市役所	477
7	高-③-11 レオパレス芝茶屋（西向き）	414
8	広-21 広丘駅東口	400
9	高-②-1 ザ・ビッグ塩尻広丘店	341
10	大-12 カワチ薬品塩尻店	335
11	東-16 JA松本ハイランド塩尻地域交流センター	334
12	高-⑤-5 ツルヤ広丘店	331
	宗-7 桔梗ヶ原病院	331
14	広-1 松本歯科大学	284
15	東-10 町区公民館（西向き）	279
16	高-①-3 カインズ塩尻店	276
17	宗-2 西友塩尻西店	273
18	高-④-1 セブンイレブン塩尻高出店（西向き）	265
19	東-1 塩尻協立病院（北向き）	250
20	大-16 セブンイレブン塩尻日ノ出町店	249
21	高-③-8 都市大塩尻高校（西向き）	235
22	松-2 まつもと医療センター（東向き）	233
23	高-④-2 中島書店（南向き）	223
24	高-⑤-4 ふれあいセンター広丘	212
25	洗-1 信濃ワイン	198
26	吉-17 吉田三区八常会集会所	187
27	吉-4 田川高校	186
	東-39 みどり湖団地南	186
29	宗-8 井筒ワイン	182
30	東-17 一本木公園	175
31	東-33 みどり湖駅（東向き）	174
32	大-22 大門田川町北（北向き）	171
33	高-③-10 ローソン塩尻桔梗ヶ原店	166
34	高-①-2 デリシア塩尻東店	164
35	東-1 塩尻協立病院	162

降車MP TOP35 (乗客数)

1	大-1 塩尻駅東口	3,476
2	大-4 ウイングロード	1,647
3	大-3 えんぱーく	929
4	大-2 塩尻市役所	646
5	広-21 広丘駅東口	544
6	広-37 GAZA（ギャザ）北口正面	537
7	東-30 松原区ふれあい広場	461
8	高-②-1 ザ・ビッグ塩尻広丘店	447
9	松-2 まつもと医療センター（東向き）	428
10	高-⑤-5 ツルヤ広丘店	392
11	広-1 松本歯科大学	385
12	東-1 塩尻協立病院	360
13	広-20 広丘駅西口	355
14	宗-2 西友塩尻西店	287
15	宗-7 桔梗ヶ原病院	264
16	高-③-2 ホテルルートイン塩尻	262
17	高-①-3 カインズ塩尻店	244
18	東-25 下西条	237
19	大-12 カワチ薬品塩尻店	232
20	高-④-2 中島書店（北向き）	222
21	吉-17 吉田三区八常会集会所	220
22	高-③-11 レオパレス芝茶屋（東向き）	216
23	東-33 みどり湖駅（西向き）	209
24	高-⑤-4 ふれあいセンター広丘	206
25	大-6 ホテル中村屋	201
26	高-③-8 都市大塩尻高校（東向き）	196
27	大-15 塩尻病院	195
28	大-14 塩尻市立体育館（西向き）	193
29	松-1 村井駅	192
30	高-①-1 中村病院	186
31	東-12 松金屋前（南向き）	181
32	東-19 とをしや薬局塩尻中学前店（南向き）	177
33	高-④-1 セブンイレブン塩尻高出店（東向き）	174
34	高-⑤-1 ガスト塩尻店	167
35	東-4 向陽台	166

2-3. 令和5年度地域振興バス『のるーと塩尻』実証運行実績

ゾーン別移動パターン（累積乗客数）

✓ 広丘・吉田エリアを含む移動利用が約30%を占めています。(総乗客数:25,057人)

参 考



報告案件(2)

塩尻市地域公共交通計画事業効果の評価について

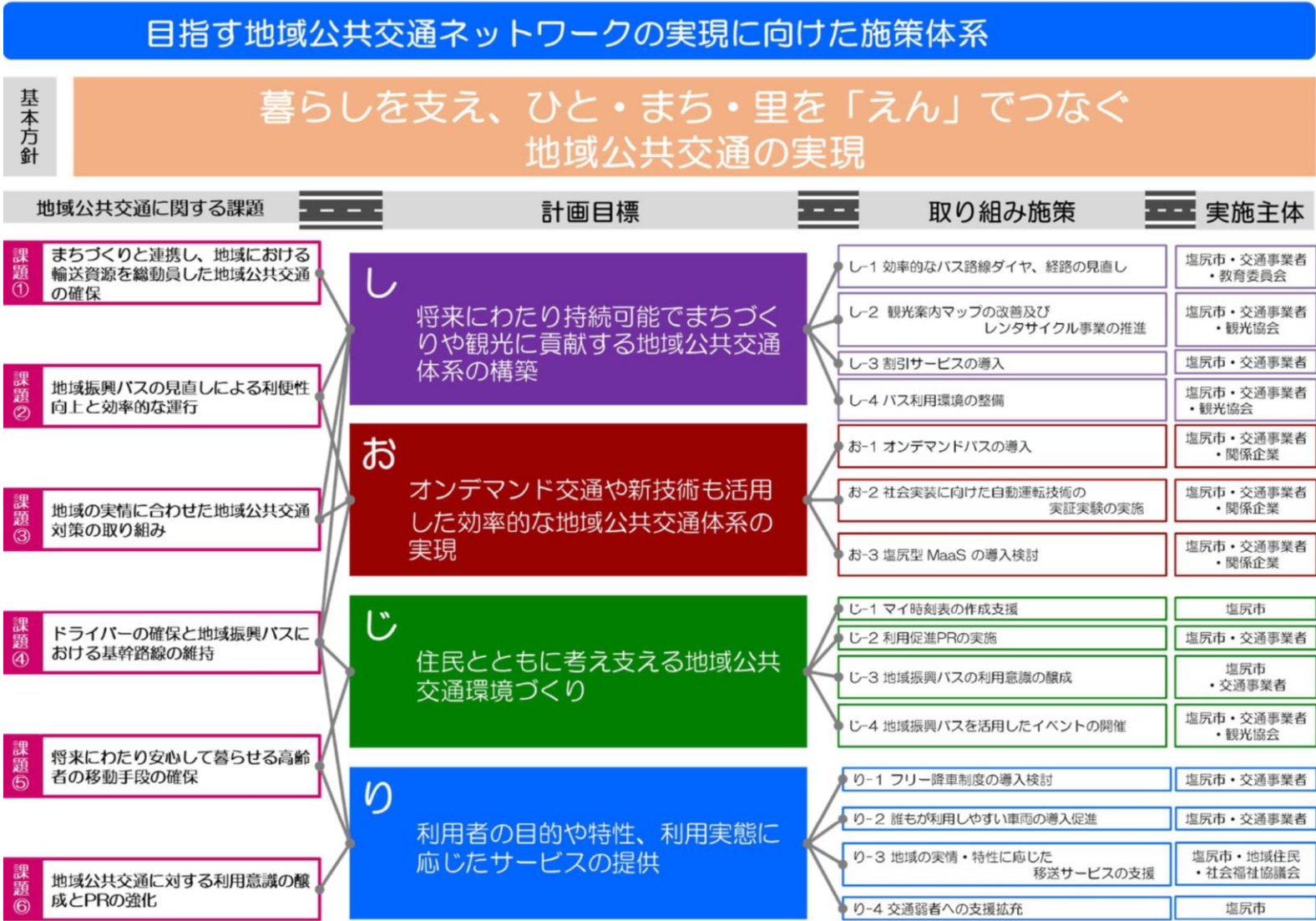
1. 地域公共交通計画における施策体系

2. 計画目標別の施策実施状況

3. 計画評価指標の進捗状況

1. 地域公共交通計画における施策体系

- ✓ 地域公共交通計画において、計画目標に沿った取り組み施策を設定。
- ✓ 各実施主体が施策を推進し、その結果について評価・検証を行う。



1. 地域公共交通計画における施策体系

2. 計画目標別の施策実施状況

3. 計画評価指標の進捗状況

2. 計画目標別の施策実施状況

- ✓ 「計画目標・し」では、地域振興バスすてっぷくん「宗賀線」の一部ダイヤ改正、「みどり湖・東山線」「塩尻東線」の機能転換を実施。
- ✓ 観光面では、新たにシェアサイクリングサービスの導入。
- ✓ のるーと塩尻では新たに「シニア区分」の割引サービスを導入。

計画目標	施策	取り組み施策	実施有無	実施内容
将来にわたり持続可能でまちづくりや観光に貢献する地域公共交通体系の構築	し-1	効率的なバス路線ダイヤ、経路の見直し	○	・市民要望に基づき、地域振興バスすてっぷくん「宗賀線」の運行経路及び一部ダイヤを改正。 ・令和 5 年 4 月から令和 4 年度実証結果に基づき、地域振興バスすてっぷくん「みどり湖・東山線」「塩尻東線」をのるーと塩尻へ機能転換。
	し-2	観光案内マップの改善及びレンタサイクル事業の推進	○	・塩尻市観光協会実施のレンタサイクル利用270回。 ・その他、新たに塩尻市・山形村・朝日村・各観光協会で構成する「塩尻・山形・朝日サイクルツーリズム推進協議会」が、シェアサイクリングサービス「HELLO CYCLING」を導入（利用685回／市内外・広域移動含む）。
	し-3	割引サービスの導入	○	・令和 5 年 4 月からののるーと塩尻において、新たに「シニア区分（75歳以上）」を導入。
	し-4	バス利用環境の整備	○	・地域振興バスすてっぷくんのナンバリングは継続実施。 ・のるーと塩尻車内デジタルサイネージにおいて、利用方法やよくある質問、のるーと塩尻に係る最新情報を発信。

2. 計画目標別の施策実施状況

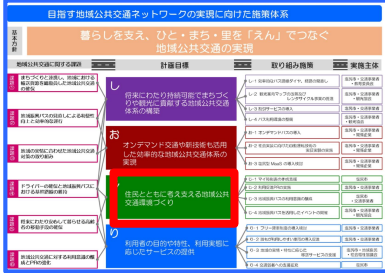
- ✓ 「計画目標・お」では、令和5年10月から翌3月まで広丘・吉田地区でのるーと塩尻実証運行を実施。
- ✓ 令和6年1月に自動運転走行実証の一環として試乗会を実施。
- ✓ 塩尻型MaaSアプリを構築し、BIツールを活用して可視化。

The screenshot displays a user interface for a MaaS (Mobility as a Service) system. It features a top navigation bar with tabs for '計画目標' (Planning Goals), '取り組み施策' (Implementation Measures), and '実施内容' (Implementation Content). The main area is divided into sections for different transportation modes, including 'バス' (Bus), 'タクシー' (Taxi), and '自転車' (Bicycle). Each section contains a list of services, their status, and associated data points. A sidebar on the left provides additional filters and search options.

計画目標	施策	取り組み施策	実施有無	実施内容
オンデマンド交通や新技術も活用した効率的な地域公共交通体系の実現	お-1	オンデマンドバスの導入	○	・令和5年10月から新たに広丘・吉田地区でのるーと塩尻の実証運行を開始。同9月から11月にかけて地域説明会を実施し、同12月までアンケートを行い、実証結果を取りまとめて翌4月から地域振興バスすてっぷくん「広丘駅循環線」「塩尻北部線」との機能転換を決定。
	お-2	社会実装に向けた自動運転技術の実証実験の実施	○	・市内中心市街地において自動運転レベル2走行実証を行い、一般試乗会を令和6年1月22日から26日の計5日間実施。地域住民を中心に436名が試乗。固定型端末機及びWeb予約システムによる自動運転車両予約体制を構築し、遠隔監視・運行管理・運行管制システム・信号機連携実証を実施。
	お-3	塩尻型MaaSの導入検討	○	・塩尻型MaaSアプリを構築し、利用状況の可視化・分析、データに基づく施策推進のためダッシュボードを構築。データに基づく施策推進を進めるためアプリの利用状況をBIツールを活用して可視化。関係者約70名を対象にアプリの使い勝手等を確認するアンケートを実施し、5つの機能（施設／目的地検索、経路検索、バス停マップ、マイ時刻表、配車）を構築。また、国土交通省共創モデル実証プロジェクト人材育成事業として、まちづくり関係者による地域公共交通利用促進に係るワークショップを2回実施。

2. 計画目標別の施策実施状況

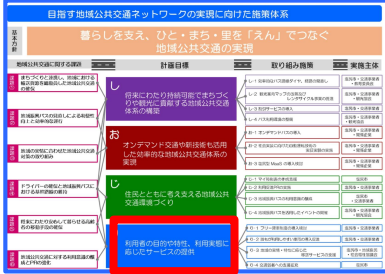
- ✓ 「計画目標・じ」では、地域振興バスの利用増進に係る施策を実施。
- ✓ のるーと塩尻実証運行に関係した利用促進PR、住民説明会を開催し、「地域住民が自ら利用し、乗って残すもの」という意識転換に向けた活動を展開。



計画目標	施策	取り組み施策	実施有無	実施内容
住民とともに考え支える地域公共交通環境づくり	じ-1	マイ時刻表の作成支援	○	・継続実施。
	じ-2	利用促進PRの実施	○	・令和5年8月から9月にかけてのるーと塩尻実証運行対象エリアの広丘・吉田地区において回覧版を発出。 ・のるーと塩尻に係る情報発信として市広報掲載6回（7月、9月～12月、3月）
	じ-3	地域振興バスの利用意識の醸成	○	・のるーと塩尻実証運行にあたって、対象の広丘・吉田地区住民に向けて令和5年9月から11月にかけて運行説明会を19回主催・実施。その他にも社会福祉協議会や地域主催の集いの場で説明会を開催（計7回）。 ・地域振興バスすてっぷくん、のるーと塩尻の運行事業者であるアルピコタクシー株式会社と定期的な意見交換を実施。また、地域内の交通事業者であるタクシー事業者との意見交換を実施（計21回）。
	じ-4	地域振興バスを活用したイベントの開催	○	・地域内イベント開催（11月）にあたって、地域振興バスすてっぷくん、のるーと塩尻の利用方法について情報発信。

2. 計画目標別の施策実施状況

- ✓ 「計画目標・り」では、利用者の目的や特性、利用実態に応じたサービスの提供に向けた施策を実施。
- ✓ 公共交通空白地に対する有償運送事業費補助、高齢者生活支援サービスとしてのタクシー利用補助等の施策を実施。



計画目標	施策	取り組み施策	実施有無	実施内容
利用者の目的や特性、利用者実態に応じたサービスの提供	り-1	フリー降車制度の導入検討	○	・継続実施。
	り-2	誰もが利用しやすい車両の導入促進	○	・令和5年4月から塩尻東地区でのるーと塩尻の本格運行を開始し、それまでの地域振興バスすてっくん「みどり湖・東山線」「塩尻東線」で使用した大型車両から中型車両へダウンサイジングを実現。
	り-3	地域の実情・特性に応じた移送サービスの支援	○	・塩尻市社会福祉協議会主催で地域の実態に応じた移送サービス構築に向けた関係者協議、学習会を計12回実施。 ・お買い物バス実証運行を計5回実施。 ・桧川地区における公共交通空白地有償運送事業に対して事業費補助を実施。
	り-4	交通弱者への支援拡充	○	・高齢者の生活支援サービスとして、自動車等の交通手段を持たない高齢者世帯かつ住民税非課税世帯に対して、病院への通院や福祉施設等への通所、買い物などに利用できるタクシー利用助成券を交付（8,067枚）。 ・車イスまたは寝たまま乗車できる寝台タクシー利用に対して一部費用を助成（374回）。

1. 地域公共交通計画における施策体系
2. 計画目標別の施策実施状況
- 3. 計画評価指標の進捗状況**

3. 計画評価指標の進捗状況

- ✓ 地域公共交通計画で設定する評価指標の進捗は次のとおり。
- ✓ 地域振興バス利用者数は、コロナ禍の2020年度と比較して**132.2%増**。コロナ前と比較して**95.8%**と利用は回復傾向。
- ✓ 利用者満足度は基準年度比で**13%増**。（26.2%/2019年度 → 39.2%/2023年度）

各評価指標における「目標値」の評価

※ 1 2021年度から「のるーと塩尻」含む

番号	評価指標	2019年 (基準年度)	2020年度	2021年度	2022年度	2023年 (中間年度)	2026年 (目標年度)
1	地域振興バス 利用者数 (※ 1)	135,142人	97,895人	105,715人	117,393人	129,492人	151,000人
2	収支率	13.0%	—	—	—	—	18.0%
3	公的負担額	92,468,000円	—	—	—	—	現状維持
4	利用者満足度	26.2%	30.8%	33.2%	32.0%	39.2%	34.0%

目標値を達成するための「取り組み施策」の評価

- ✓ 地域振興バス利用者数の確保に向けて、AI活用型オンデマンドバス「のるーと塩尻」の実証運行を通して公共交通の周知・広報を強化する。
- ✓ 収支率、公的負担額は、当初設計時よりも燃料費や人件費等の固定費用に係る基準額が高騰しており、収支設計の再検討が必要。

協議案件(1) 令和6年度 のるーと塩尻実証運行計画(案)について

1 実証運行に取り組む背景

2 令和6年度

AI活用型オンデマンドバス「のるーと塩尻」
実証運行計画（案）

3 参考

1 実証運行に取り組む背景



【概要】（R4.4時点）

■ 運行形態

旧塩尻市内：アルピコタクシー(株) 9路線

旧桧川村：大新東(株) 1路線

■ 料金体系

1乗車 100円

1999

塩尻市初の市営バスの試験運行を開始。当初は4路線で運行し、6路線まで順次路線を追加

2001

試験運行の利用状況等検討した上で本格運行を開始

2005

桧川村合併に伴い、桧川村地域振興バスを塩尻市に移管

2006

中心市街地循環線の試験運行開始

2007

塩尻北部線、勝弦線の試験運行開始
また、その他路線の見直しを実施

2018

片丘線や桧川線、東山線、北小野線などルート変更を実施
10路線で市内を網羅的に運行

2021

2022ダイヤ改正に向けた調査を実施
中心市街地運行エリアにてのりーと有償実証運行を実施

2022~

すてっぷくんの一部路線を廃止し、のりーと本格運行を開始
ダイヤ改正によりフリー降車制度・速達便を導入



1 実証運行に取り組む背景

利用者ニーズの多様化等を背景として利用者が年々減少し、地域振興バスの事業費も右肩上がり増加している状況で、抜本的な改善が求められていました。



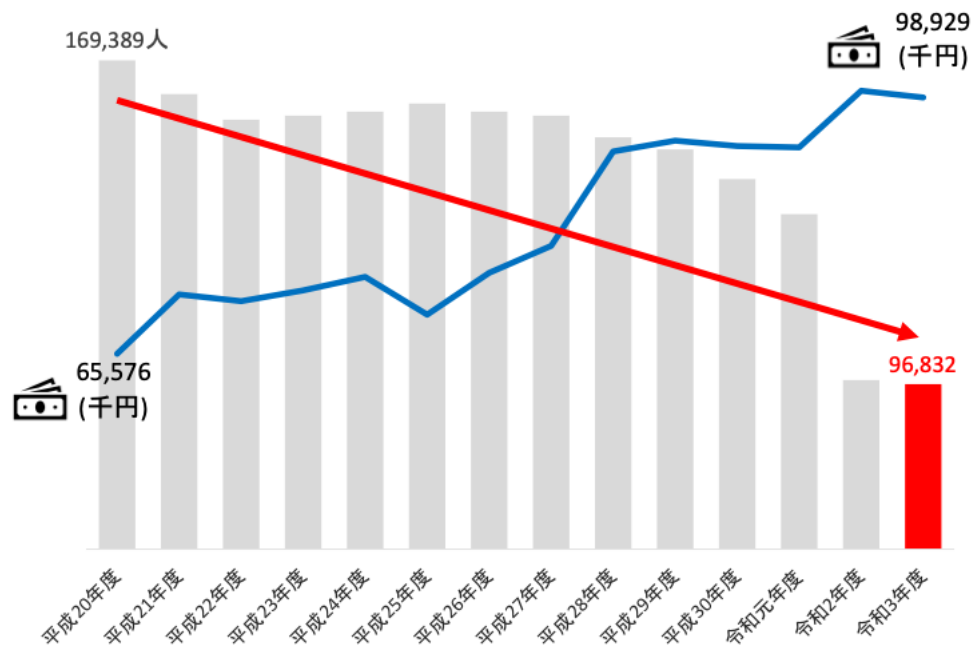
ニーズの多様化



空気を運ぶバス



ドライバー不足と高齢化



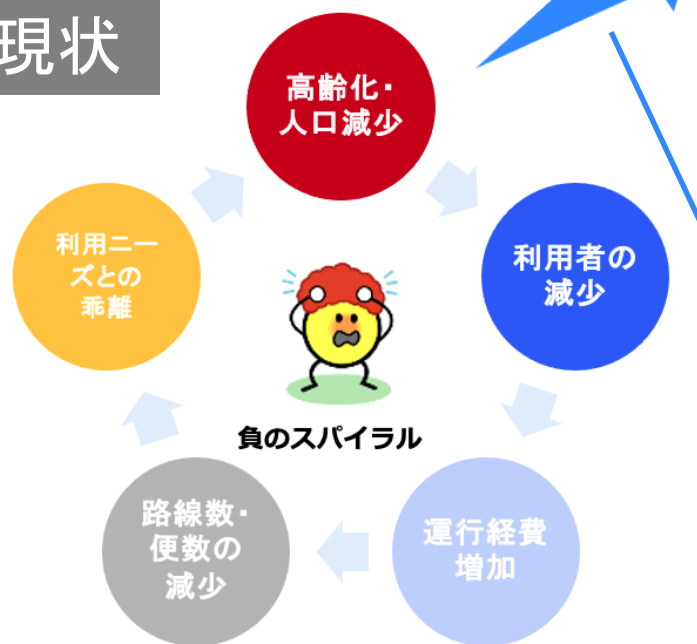
ピーク時から
約7万人減

委託料は**増加**



新技術を活用した実証運行を行い、
**交通サービスを
より便利に！**

現状



導入意図

行政

✓ **同事業費**の中でより**効果的なサービス**を提供し、
財政負担の軽減が見込める。

市民

✓ **利便性の向上**で生活の移動がより便利に。

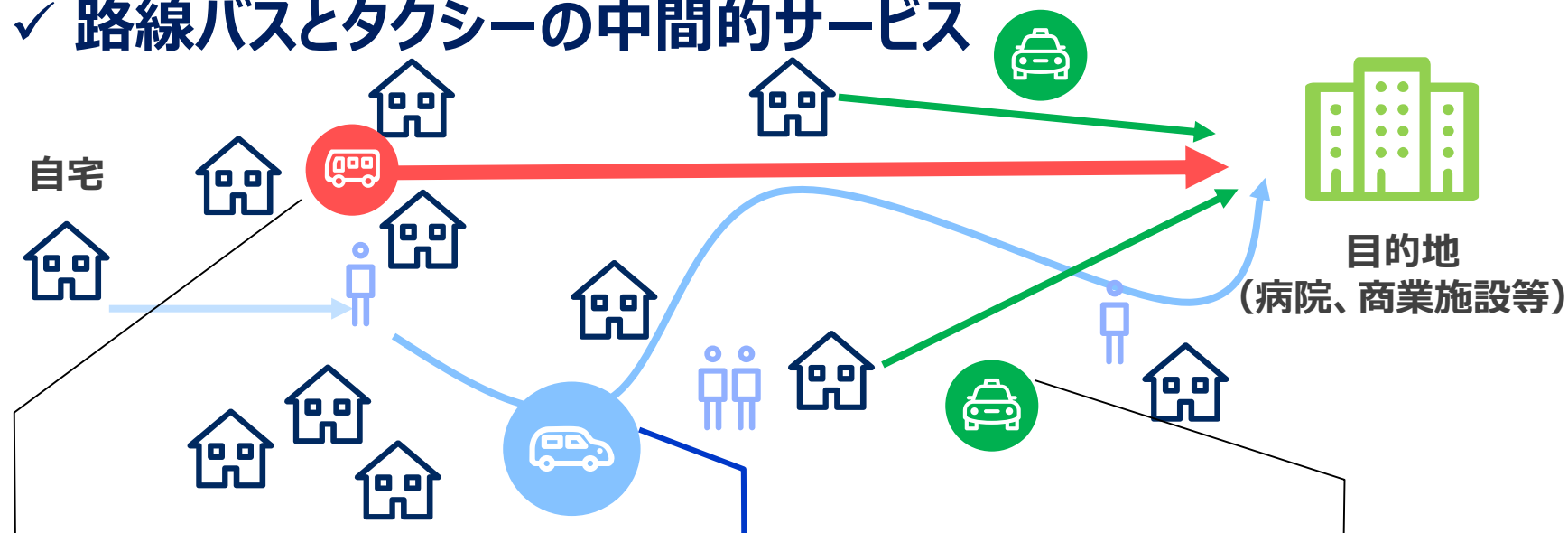
交通事業者

✓ **ドライバーの確保**がしやすくなる。



のるーとのサービスの特徴

✓ 路線バスとタクシーの中間的サービス



路線バス (乗合バス)

- ・ 時間、運行経路の決められたサービス
- ・ 一度に多くのお客様が利用可能
- ・ 金額は手頃



オンデマンドバス 「のるーと」

- ・ **アプリ**による配車予約
- ・ AIが**乗合状況や道路状況等**に応じ**効率的なルート**を生成
- ・ 利用する**出発地・目的地周辺**での乗り降りが可能
- ・ 小型バスできめ細やかに乗り合い運行
- ・ 金額はバス以上、タクシー以下



タクシー

- ・ 出発地、目的地は自由に指定できる
- ・ 好きなときに乗れる
- ・ プライベートな空間
- ・ 金額は高め

予約方法について

✓ お手持ちのお電話から、のるーとの配車予約ができます。

① 専用アプリ予約



② LINE予約



③ 携帯電話（スマートフォン以外）や 固定電話の方は電話予約へ



電話番号 ☎0263-50-8668
受付時間 午前9時～午後5時

のるーとの使い方

4つのステップで簡単に利用ができます！



呼ぶ

アプリまたは電話で配車を予約

※ 乗車希望日の3日前から予約可能

※ アプリからの時間指定による予約は24時間可能

来る

指定されたのりば（ミーティングポイント）と号車番号をチェック！

乗る

ドライバーに予約番号を伝え乗車

※ 予約番号は会員登録時の電話番号下4桁です

払う

乗車時に運賃をお支払い

※ 両替機がないため釣銭がでないようご注意ください

1 実証運行に取り組む背景

2 令和6年度

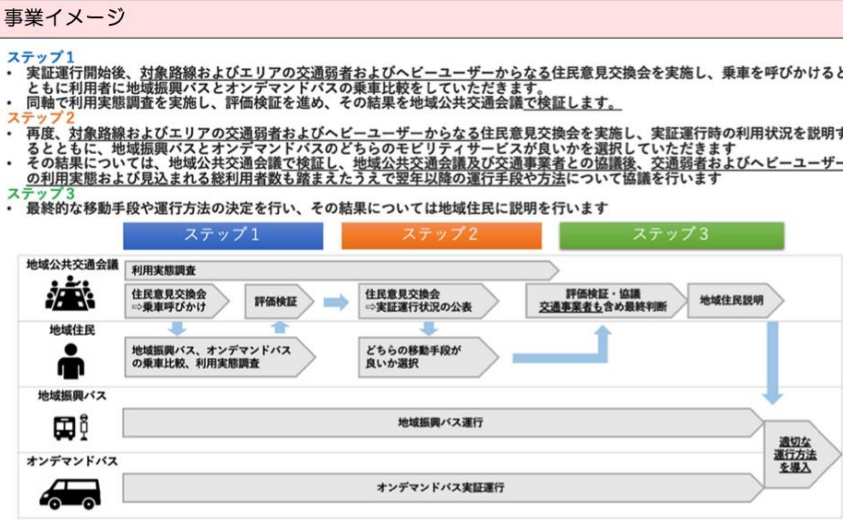
AI活用型オンデマンドバス「のるーと塩尻」 実証運行計画（案）

3 参考

5.2 オンデマンド交通や新技術も活用した効率的な地域公共交通体系の実現

基本方針		オンデマンド交通や新技術も活用した効率的な地域公共交通体系の実現					
取り組み施策	お-1 オンデマンドバスの導入						
事業目的	利用ニーズの多様化を背景とする地域振興バスの利用者減少、運転士の高齢化、担い手不足等の課題に対応するため、移動困難者を含む利用者にとって適切な範囲に適切な台数のオンデマンドバスを導入し、持続可能な地域公共交通の実現を目指します。						
実施主体	塩尻市	交通事業者		関係企業			
	○	○		○			
取り組み施策と実施期間							
実施項目	R3 2021	R4 2022	R5 2023	R6 2024	R7 2025	R8 2026	
導入検討調査・評価・見直し	導入計画作成						
プロモーション活動	時刻表の掲載、地区回覧、市ホームページ、観光イベント、SNS、地区説明会等において情報発信						
オンデマンドバスの導入	本格運行・運営エリア拡大						
事業概要							
特に市街地ゾーン内の定時定路線バスは、必ずしも利用者及び目的施設に近接したバス停、ダイヤではないことから需給の不一致が拡大し、利用者が減少しています。そのため、利用者ニーズに応えることが困難な地域においては、オンデマンドバスの実証運行結果に基づき、現在の地域振興バス利用者の意向を十分に考慮し、転換可能な路線は令和7年までに本格運行を目指します。							
事業イメージ							
中心市街地循環線、塩尻東線、みどり湖・東山線、塩尻北部線、広丘駅循環線、片丘線を代替対象路線と位置付け、段階的に実証運行を行います。							
							
図お-1-1 交通体系の将来イメージ							

図お-1-1 交通体系の将来イメージ



図お-1-2 オンデマンドバス代替検討フローイメージ



図お-1-3 2020年11月実証運行時 AI活用型オンデマンドバスののるーと塩尻運行車両

2 令和6年度 AI活用型オンデマンドバス「のるーと塩尻」実証運行計画（案）

- ✓ 市街地ゾーンで年次ごと実証運行エリアを拡大しつつ、ヘビーユーザーに地域振興バスとオンデマンドバスの乗車比較をしていただき、どちらのサービスが適切かニーズを分析します。
- ✓ その結果を踏まえ次年度の適切な交通モードでの運行を検討していきます。

実証運行エリア	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度
中心市街地循環線	完了	実証運行	本格運行開始		
塩尻東線/みどり湖・東山線		完了	実証運行	本格運行開始	
広丘駅循環線/塩尻北部線			完了	実証運行	本格運行開始
片丘線				実証運行	住民選択の結果 適切なモードで運行



振興バス



オンデマ

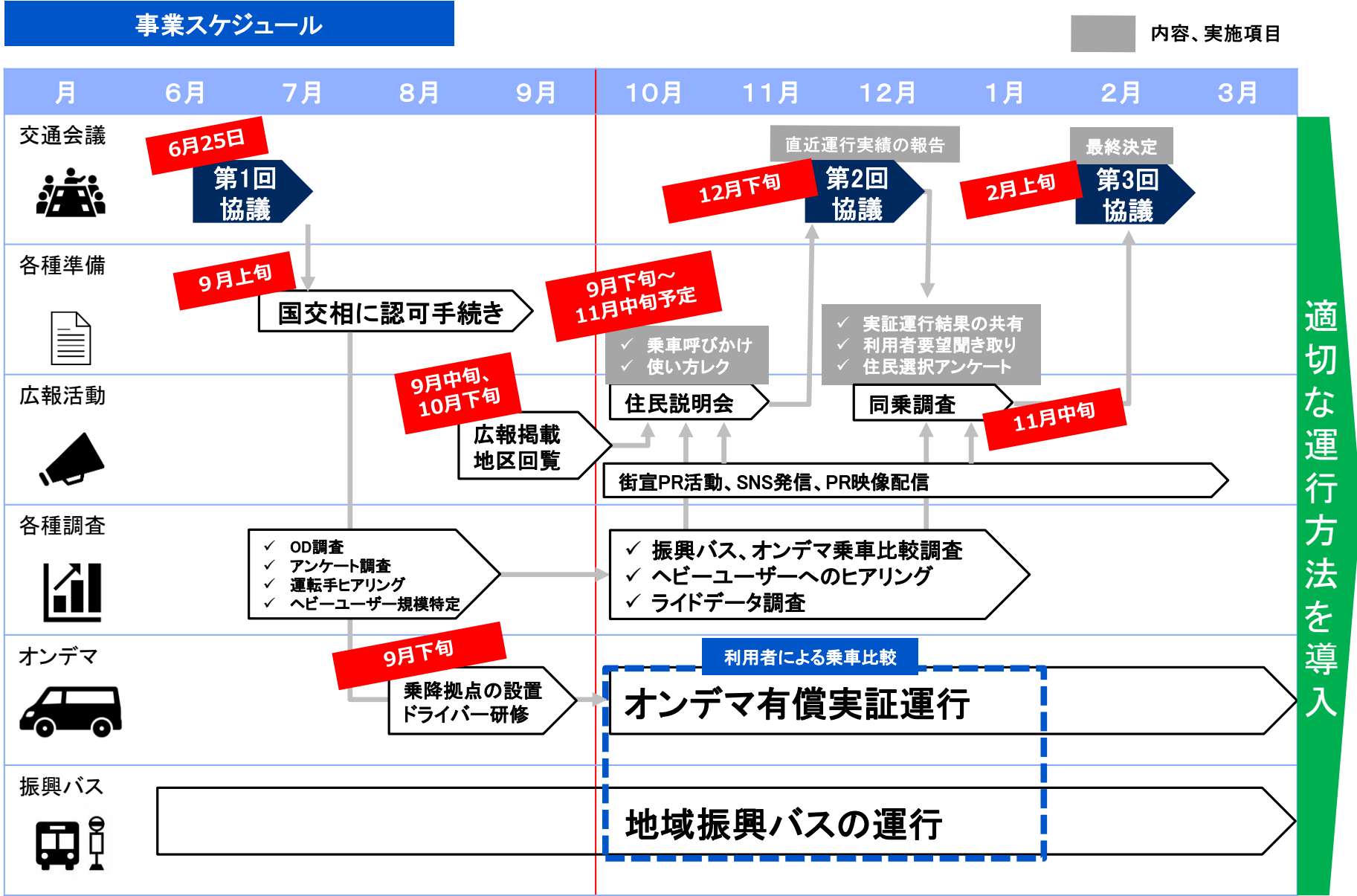


住民選択

➢ アンケート、住民説明会で利用者意見を文政



2 令和6年度 AI活用型オンデマンドバス「のるーと塩尻」実証運行計画（案）



令和6年度 AI活用型オンデマンドバス「のるーと塩尻」実証運行計画（案）

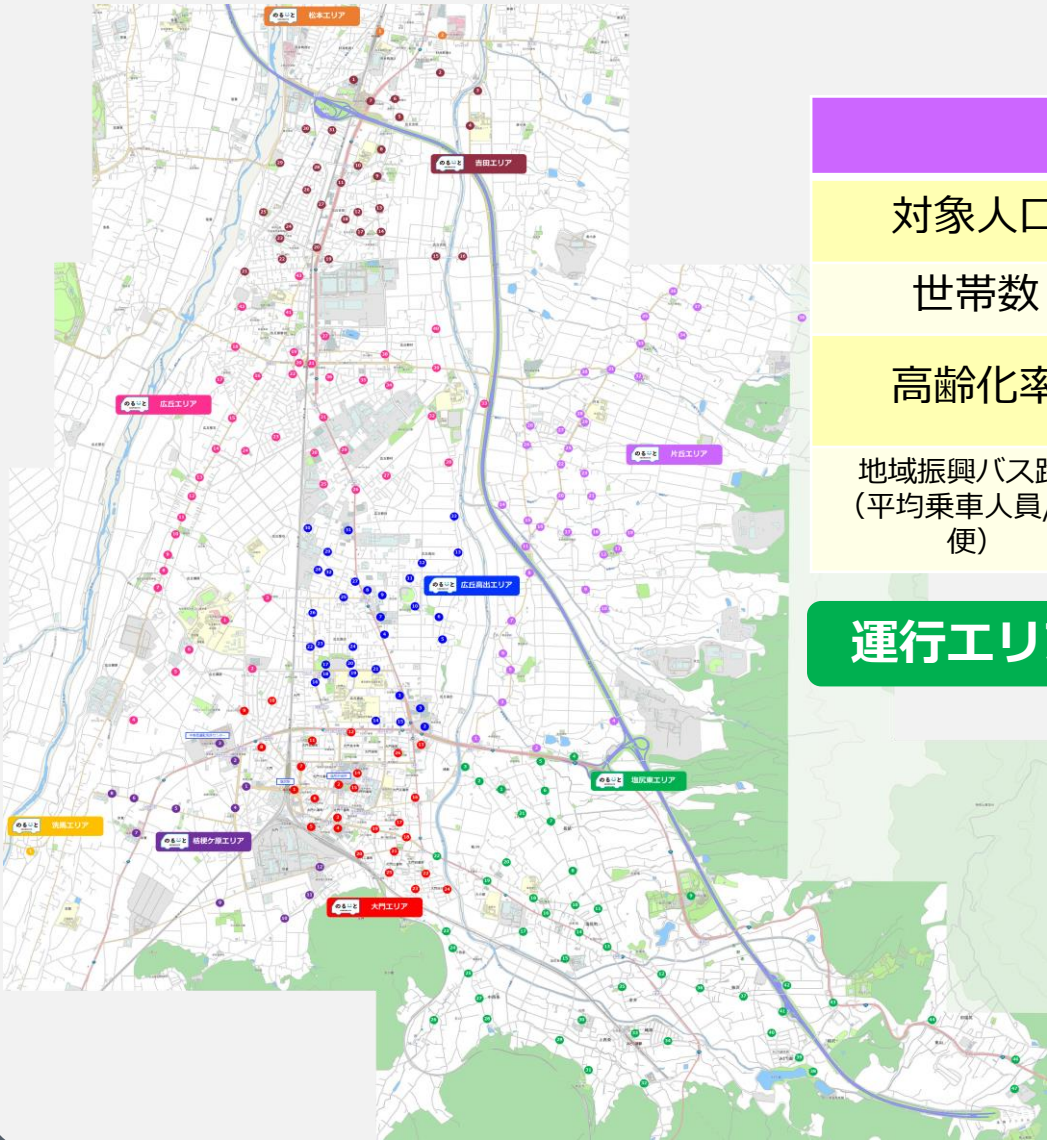


事業の概要

項目	内容
実施主体	塩尻市・（一財）塩尻市振興公社
実証期間	令和6年10月1日～令和7年3月31日
運行時間	平日 午前7時00分～午後8時00分 土曜日 午前9時00分～午後8時00分 日祝 午前9時00分～午後6時00分
運行事業者	アルピコタクシー（株）
事業許可	道路運送法 第4条(区域運行)
実証運行対象エリア	片丘エリア
実証運行エリア面積	約7.5km ² (片丘エリアのみ) 【全エリア約37.5km ² 】
使用車両台数	平日 5台 土日祝 4台 【全エリア】
乗降拠点設置箇所数	72箇所(システム設定含む) 【全エリア383箇所】
運賃設定	【7km以下】 大人200円／シニア・小児・障がい者等 100円
（※詳細パンフレットのとおりに）	【7km超】 大人400円／シニア・小児・障がい者等 200円
転換検証対象路線	地域振興バス「片丘線」

※ 乗降拠点設置箇所数については、今後の公安協議等により変更となる可能性があります。

本格運行中の現行エリアを片丘エリアまで拡大し、一面で実証運行を実施



片丘エリア概要	
対象人口	約3,700人
世帯数	約1,550世帯
高齢化率	37.2% (全市平均29.1%)
地域振興バス路線 (平均乗車人員/日・便)	片丘線 (19.88人/日) (3.98人/便)

運行エリア図



のるーと塩尻の使い方

簡単な4つのステップで利用できます♪

※ ご利用にはご登録（無料）が必要です。
※ 既にアプリ登録済みの方は新たににご登録していただく必要はありません。

呼ぶ

アプリまたは電話で配車を予約

- ✓ 乗車希望日の3日前から事前予約が可能
- ✓ アプリからは24時間予約可能

来る

指定された乗り場で車両を待つ

- ✓ 号車番号を確認

乗る

ドライバーに予約番号を伝え乗車

- ✓ 予約番号は会員登録時の電話番号下4桁です

払う

乗車時に運賃を前払い

- ✓ 両替機がないため釣銭がでないようご注意ください

※1 片丘エリアの事前予約は「9月28日」から可能になります。

専用アプリ（無料）のダウンロード方法



「のるーと塩尻」電話予約センター



電話番号 ☎0263-50-8668

受付時間 午前9時～午後5時

※ 電話での利用者登録受付も可能です。初回登録には10分程度がかかります。

TRY! 400円分ご乗車可能なお得なクーポンをプレゼント

ステップ1

ホーム画面

ステップ2

アカウント設定

ステップ3

プロモーションコード

ステップ4

「のるーと」を入力

※LINE予約をご利用の方は、電話予約センターでクーポン発行の手続きをお願いします。

※お電話でご利用される方は電話予約センターにお電話し、クーポンの発行をお願いします。

※クーポンの発行は、これまでにクーポンを取得されていない方が対象となります。

お問合せ

【忘れ物に関すること】 アルビコタクシー（株）塩尻営業所 ☎0263-52-3171

【運行に関すること】 塩尻市建設事業部都市計画課 ☎0263-52-0689



運行エリア
拡大!

AI活用型オンデマンドバス

「のるーと塩尻」の
実証運行を開始します!

- 本市では地域住民の移動手段として「すてっぶくん」を運行していますが、利用者減少などの課題を抱えております。
- 今回の実証運行では、本格運行している中心市街地エリア及び塩尻東エリア、広丘・吉田エリアに、**片丘エリア**を加え、地域住民の皆様には「すてっぶくん」と「のるーと」の乗車比較をしていただき、ご意見や評価を踏まえ令和7年4月1日以降に「片丘線」とのサービス代替が可能か否かを検証します。
- 是非ご利用をいただき、サービスに対するご意見をお寄せください。

運行期間

10月1日(火) ~ 3月31日(月)

【※運休日 12月30日～1月3日】

平日 午前7時00分～午後8時00分

土曜 午前9時00分～午後8時00分

日祝 午前9時00分～午後6時00分

運行時間

運賃表	運賃					
	大人	シニア (75歳以上)	小児 (小・中学生)	幼児・乳児 (未就学児)	障がい者	介護者
7km以下	200円	100円	100円	無料	100円	100円
7km超	400円	200円	200円	無料	200円	200円

※運賃は、乗降拠点間「直線距離」で算出して予約時に決定します。

※75歳以上でご乗車される方

・【アプリ予約】〈シニア〉を選択 ・【電話予約】〈75歳以上〉と申告をお願いいたします。

※中学生でご乗車される方

・【アプリ予約】〈小児(小学生)〉を選択 ・【電話予約】〈中学生〉と申告をお願いいたします。

※75歳以上でご乗車される方は「後期高齢者医療被保険者証」、

障がい者でご乗車される方は、「各種手帳」を乗車時にご提示ください。

お支払い

現金、地域振興バス回数券

共通利用券（塩尻市高齢者運転免許証自主返納支援事業で配布）

クレジットカード（アプリ予約時限定）

地域振興バス回数券の料金/11枚綴り1,000円

販売場所/塩尻市役所2階都市計画課、各支所、えんぱーく2階総合受付
塩尻市観光センター（JR塩尻駅東口）



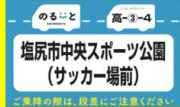
2 令和6年度 AI活用型オンデマンドバス「のるーと塩尻」実証運行計画（案）

「のりば」は
これが**目印**！

サインタワー

バス停併用型

路面貼付けシート



✓ 一部フェンス等に標版を設置している「乗り場」があります。

R6 実証運行エリア

のるーと 片丘エリア

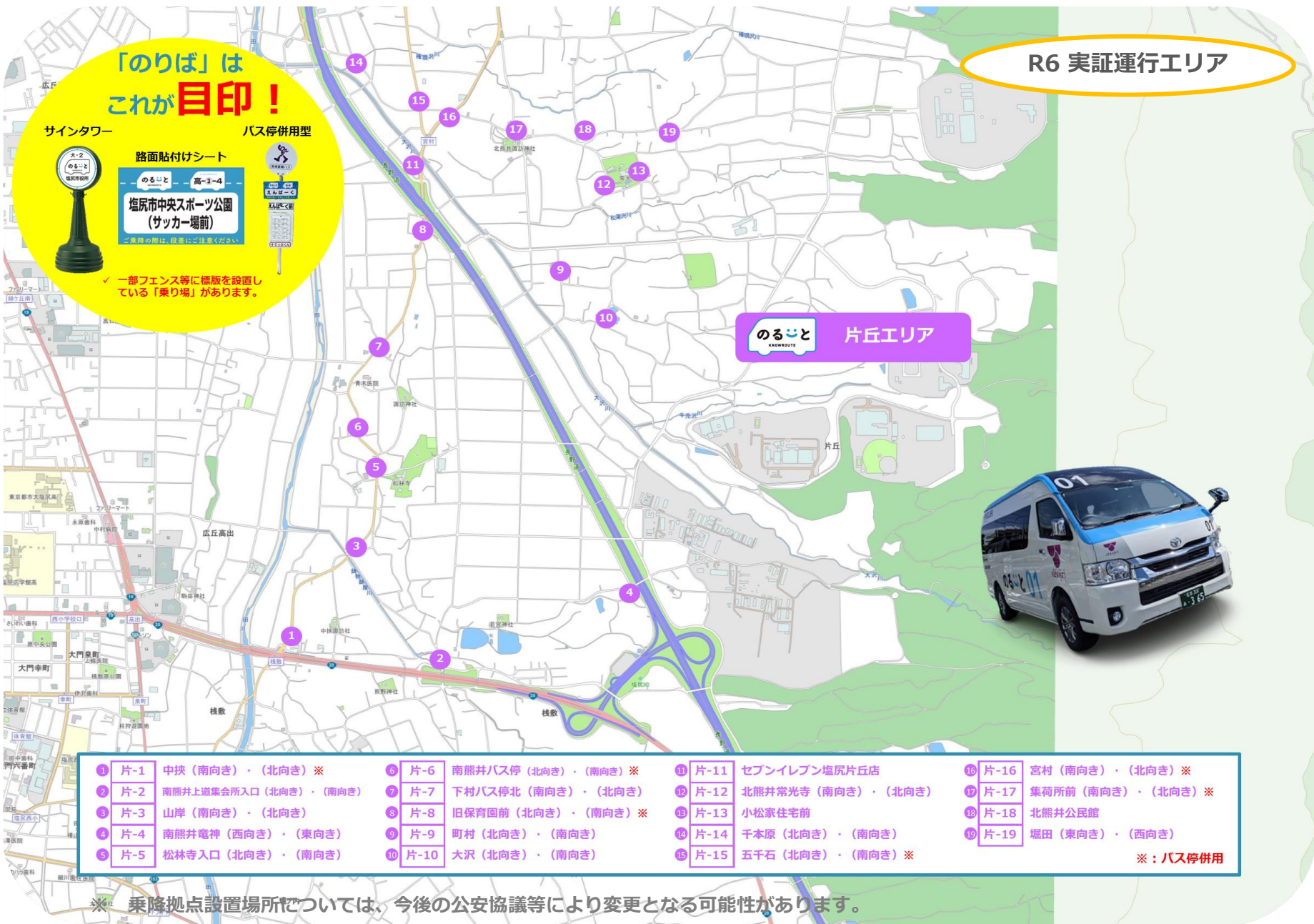


20 片-20 北熊井立小路（南向き）・（北向き）※	25 片-25 境沢（北向き）・（南向き）※	30 片-30 長峰（東向き）・（西向き）※	35 片-35 南内田公民館前
21 片-21 権現（東向き）・（西向き）※	26 片-26 君石団地（東向き）・（西向き）※	31 片-31 内田立石（西向き）・（東向き）※	36 片-36 大宮八幡 ※
22 片-22 塔婆柳（北向き）・（南向き）※	27 片-27 内田原公園（東向き）・（東向き）※	32 片-32 片丘保育園前（南向き）・（北向き）	37 片-37 南内田立小路（東向き）・（西向き）
23 片-23 北村（崎崎家住宅前）（北向き）・（南向き）	28 片-28 片丘小学校前（支所側）※	33 片-33 無量寺（南向き）・（北向き）※	38 片-38 ケアハウスえんれい ※
24 片-24 北熊井郵便局前（北向き）・（南向き）※	29 片-29 片丘小学校前（小学校側）※	34 片-34 南内田山ノ神（東向き）・（西向き）	

※：バス停併用

※ 乗降拠点設置場所については、今後の公安協議等により変更となる可能性があります。

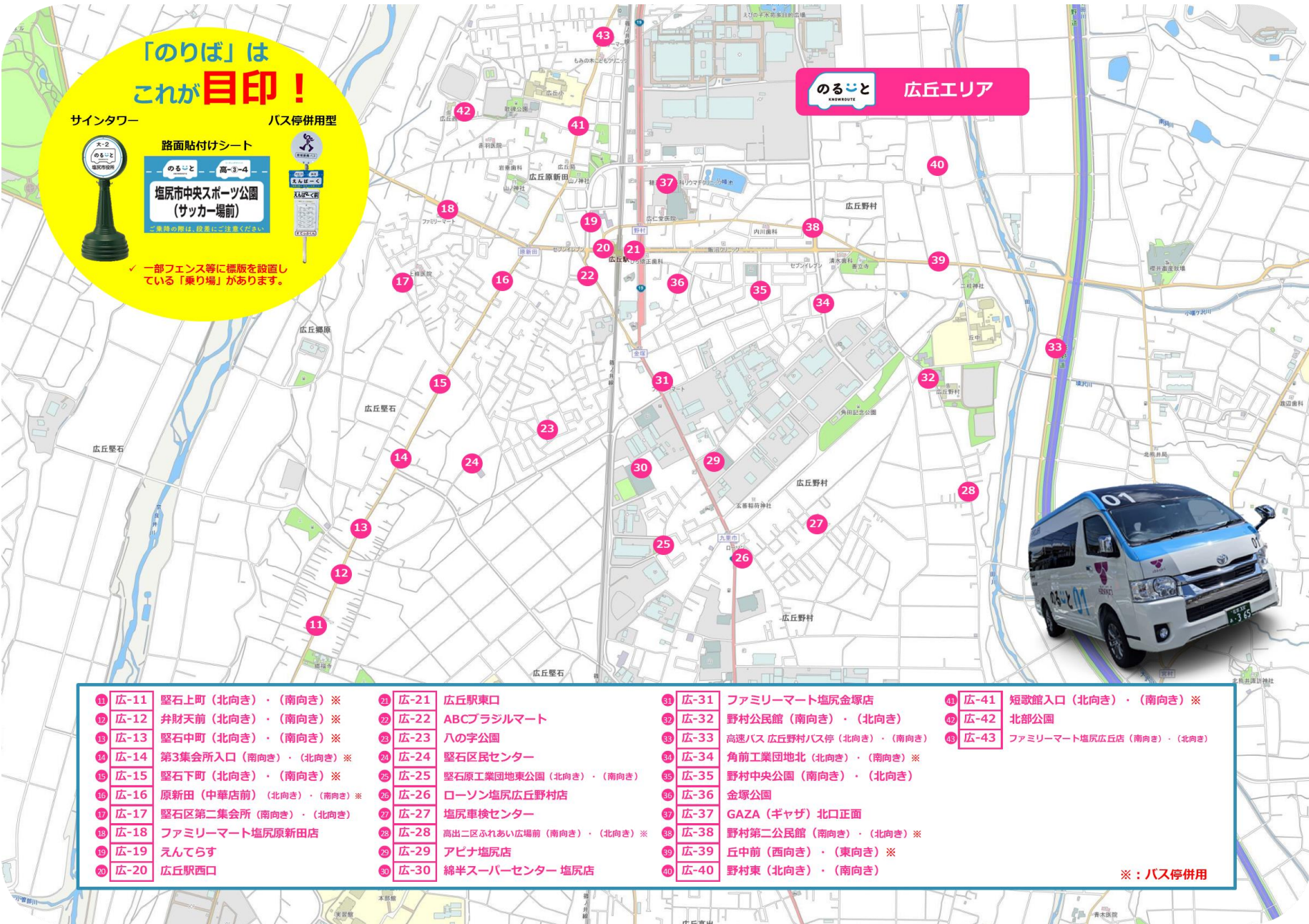
2 令和6年度 AI活用型オンデマンドバス「のるーと塩尻」実証運行計画（案）



2 令和6年度 AI活用型オンデマンドバス「のるーと塩尻」実証運行計画（案）



2 令和6年度 AI活用型オンデマンドバス「のりーと塩尻」実証運行計画（案）



2 令和6年度 AI活用型オンデマンドバス「のるーと塩尻」実証運行計画（案）

- ① 広-1 松本歯科大学 ※
 - ② 広-2 ユメックスアリーナ（東向き）・（西向き）
 - ③ 広-3 みどりヶ丘薬局
 - ④ 広-4 すがの旅館
 - ⑤ 広-5 郷原つつじ保育園
 - ⑥ 広-6 新鮮市場ききょう（南向き）・（北向き）※
 - ⑦ 広-7 郷原上（北向き）・（南向き）※
 - ⑧ 広-8 郷原第1部詰所前（北向き）・（南向き）※
 - ⑨ 広-9 郷原簡易郵便局（北向き）・（南向き）※
 - ⑩ 広-10 郷原下（北向き）・（南向き）※
- ※：バス停併用

「のりば」は
これが目印！

サインタワー

バス停併用型

路面貼付けシート

のるーと 高-3-4
塩尻市中央スポーツ公園
（サッカー場前）

一部フェンス等に標版を設置している「乗り場」があります。

のるーと 広丘エリア

NEW 33
高出第四ブロック集会所
を追加！

のるーと 広丘高出エリア



- ① 高-①-1 中村病院
- ② 高-①-2 デリシア塩尻東店
- ③ 高-①-3 カインズ塩尻店
- ④ 高-①-4 タイヤ館塩尻（南向き）・（北向き）※
- ⑤ 高-①-5 塩尻市消防団広丘分団第5部高出張所（南向き）・（北向き）※
- ⑥ 高-①-6 契樹園（東向き）・（西向き）
- ⑦ 高-②-1 ザ・ビッグ塩尻広丘店
- ⑧ 高-②-2 ファミリーマート塩尻緑ヶ丘南店 ※
- ⑨ 高-②-3 高出簡易郵便局（東向き）・（西向き）
- ⑩ 高-②-4 高出地区センター（東向き）・（西向き）

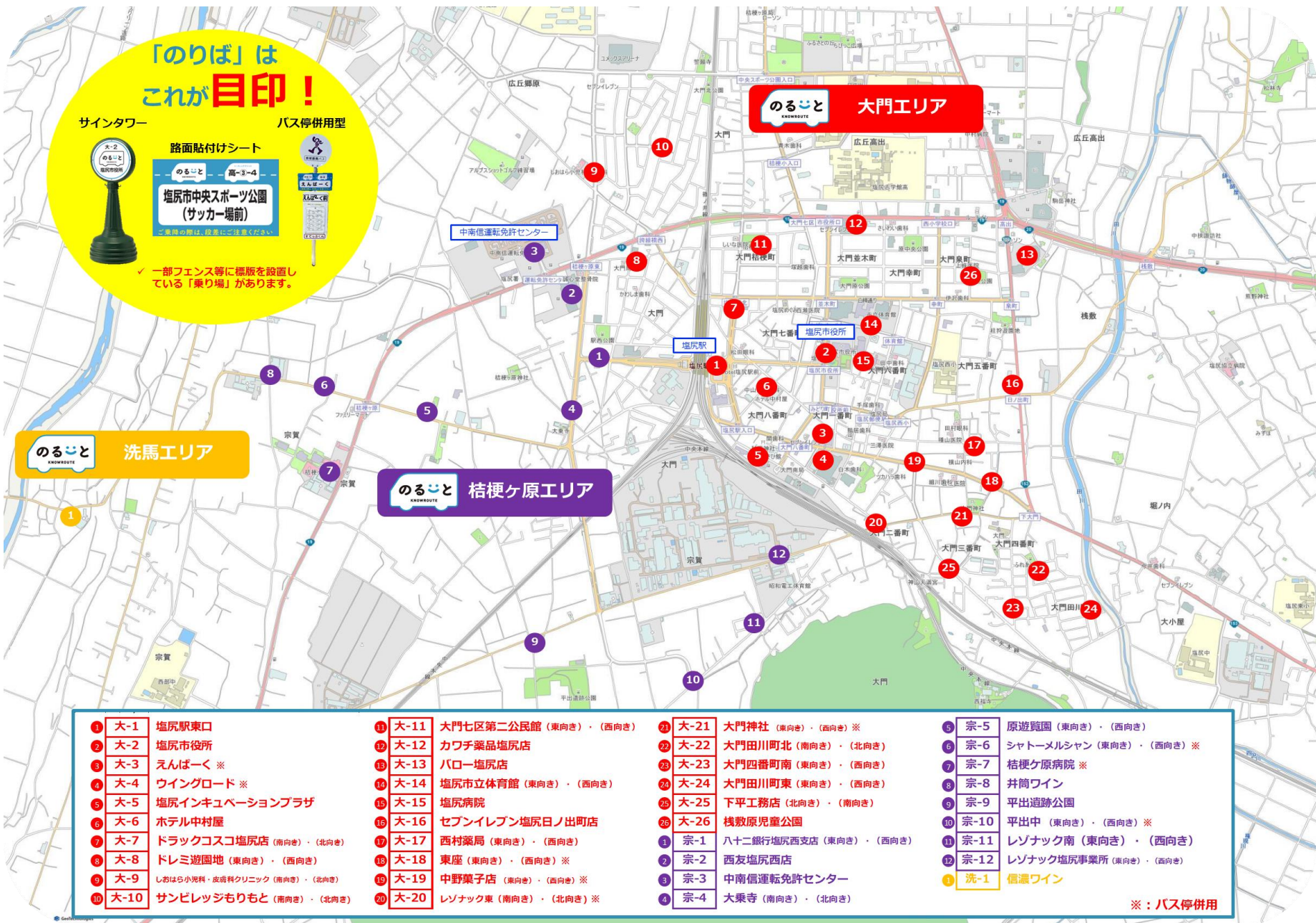
- ⑪ 高-②-5 塩尻市立高出保育園
- ⑫ 高-②-6 クレイドル長加（南向き）・（北向き）
- ⑬ 高-②-7 下村運動場（南向き）・（北向き）※
- ⑭ 高-③-1 佐々木整骨院（東向き）・（西向き）
- ⑮ 高-③-2 ホテルルートイン塩尻
- ⑯ 高-③-3 塩尻消防署（南向き）・（北向き）
- ⑰ 高-③-4 塩尻市中央スポーツ公園（サッカー場前）
- ⑱ 高-③-5 塩尻市中央スポーツ公園（テニスコート前）
- ⑲ 高-③-6 塩尻市立日の出保育園
- ⑳ 高-③-7 高出第二公民館

- ㉑ 高-③-8 都市大塩尻高校（東向き）・（西向き）
- ㉒ 高-③-9 桔梗ヶ原簡易郵便局 ※
- ㉓ 高-③-10 ローソン塩尻桔梗ヶ原店
- ㉔ 高-③-11 レオパレス芝茶屋（東向き）・（西向き）
- ㉕ 高-④-1 セブンイレブン塩尻高出店（東向き）・（西向き）
- ㉖ 高-④-2 中島書店（南向き）・（北向き）※
- ㉗ 高-⑤-1 ガスト塩尻店 ※
- ㉘ 高-⑤-2 しおじり会館（南向き）・（北向き）
- ㉙ 高-⑤-3 伊藤整骨院（東向き）・（西向き）
- ㉚ 高-⑤-4 ふれあいセンター広丘

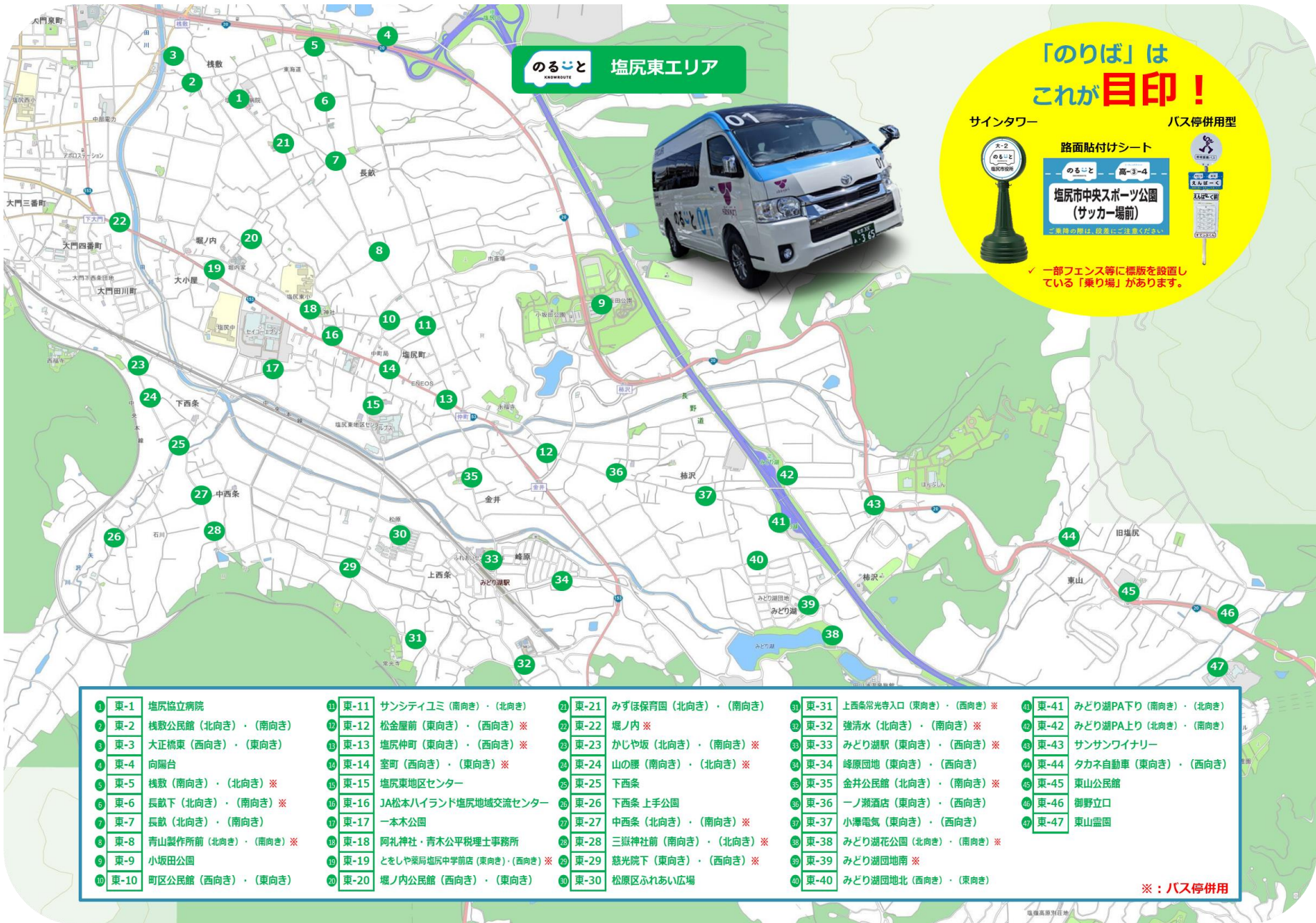
- ㉛ 高-⑤-5 ツルヤ広丘店
- ㉜ 高-⑤-6 信光電気工業（東向き）・（西向き）
- ㉝ 高-②-8 高出二区七組（北向き）・（南向き）

※：バス停併用

2 令和6年度 AI活用型オンデマンドバス「のりーと塩尻」実証運行計画（案）



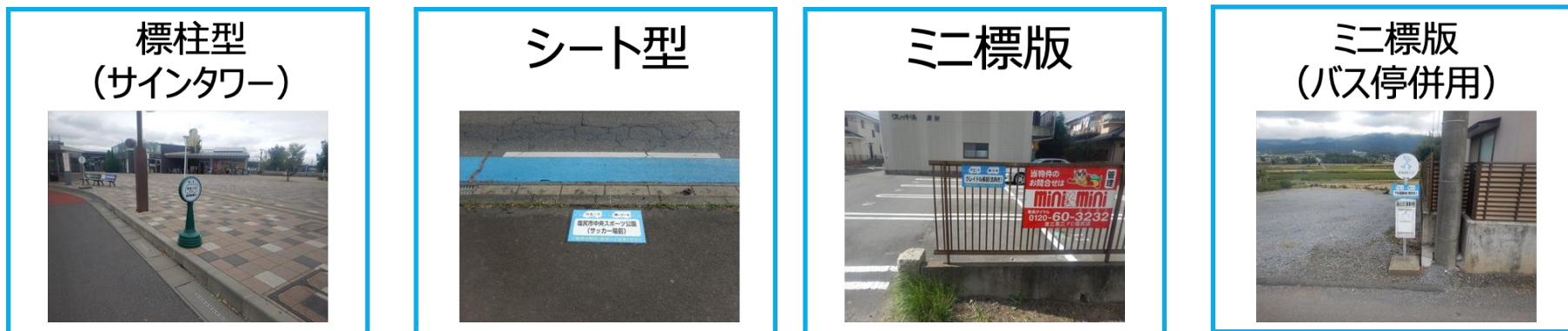
2 令和6年度 AI活用型オンデマンドバス「のりーと塩尻」実証運行計画（案）



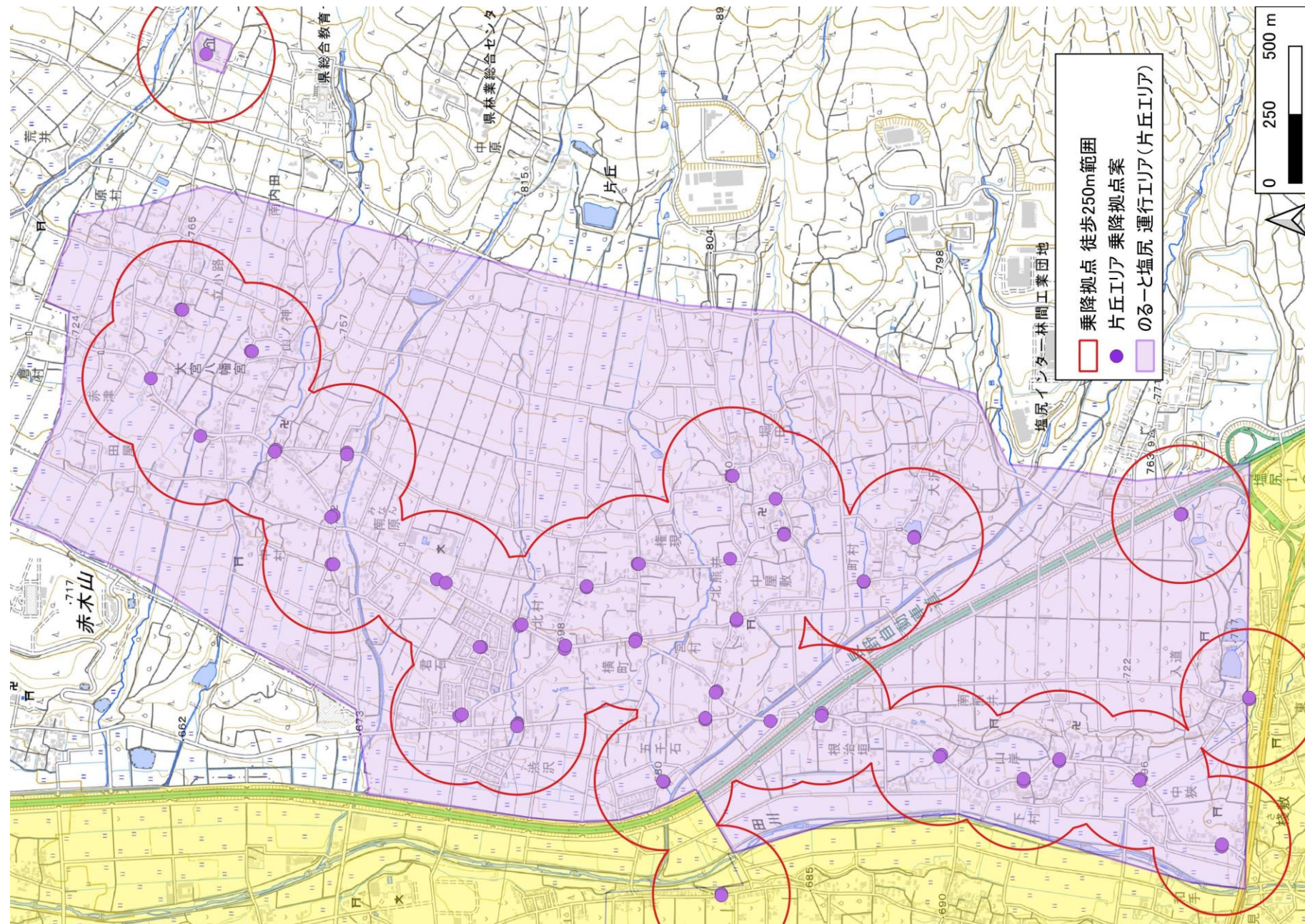
3つに分類されるミーティングポイント設置基準



設置場所の状況により適切な標示形態を選択



2 令和6年度 AI活用型オンデマンドバス「のるーと塩尻」実証運行計画（案）



運行する車両についてはトヨタハイエースで、同エリアについては5台の運用を行う予定です。

使用する車両



1 実証運行に取り組む背景

2 令和6年度

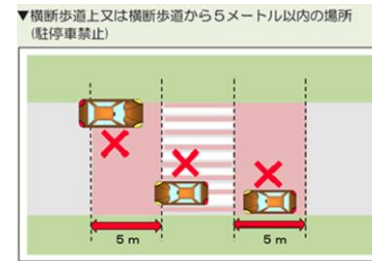
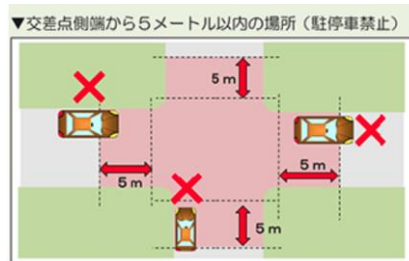
AI活用型オンデマンドバス「のるーと塩尻」
実証運行計画（案）

3 参考

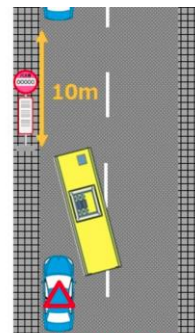
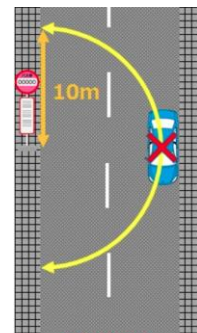
乗降拠点の設置については、**道路交通法等**に基づく駐車禁止場所を避けて設置しているほか、システムエラーが発生しないよう拠点間の**間隔**をとって設置しています。



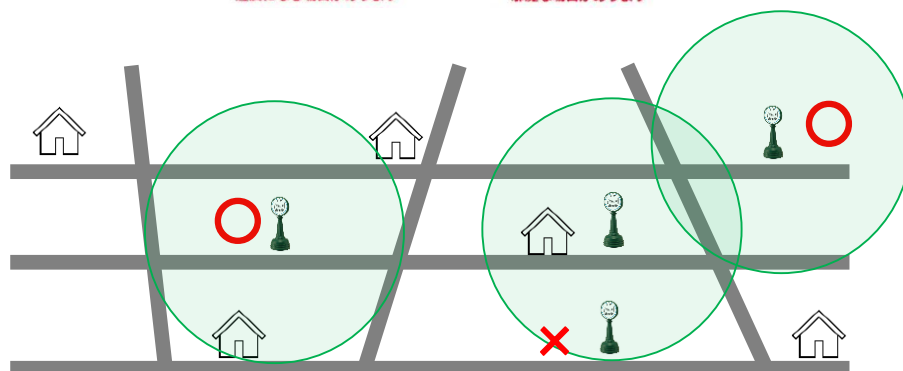
- 交差点及び横断歩道/自転車横断帯の側端から5メートル以上離れていること。
- (道路交通法第44条)



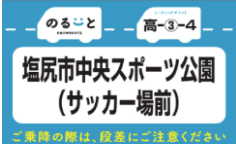
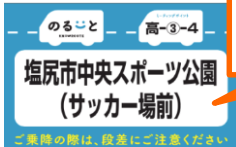
- バス停留所の標示柱から10メートル以上離れていること。
- (道路交通法第44条)
- バス停と併用する場合は公安委員会との協議が必要なこと。



- 他のミーティングポイントと一定距離以上離れていること。



その他、交通安全、運行効率の観点では以下のポイントを考慮し、総合的な視点によって乗降場所の名称、タイプ(シート型、標柱型、併設型)、設置箇所等を検討しています。

- 乗降場所（ミーティングポイント、以下MP）名称及び設置位置が、一般のWeb上の名称検索結果の位置と大きな相違がないこと。
- 十分な道路幅員（車両通行可否、MP正対面設置可否〈同時停車時に他車両の運行の妨げとなるとの判断あり〉等）/歩道・路側帯幅員が確保されていること。
- 敷地内乗り入れの際の侵入経路・停車位置が交通安全、運行効率上支障がないこと。
- 歩道上への設置箇所は、シート型を採用。
（ただし、駅などの主要箇所は標柱型で認知度を高める）
- 施設内設置箇所は、標柱型を採用。
（施設からの位置変更を求められた際には柔軟に対応可能）
- 地域振興バスのバス停と併設を検討する設置箇所は、三二標版型（バス停標柱括り付け）を採用。

地域振興バス停に
看板を取り付け

協議案件(2)

令和7年度

生活交通確保維持改善計画(案)について

➤ 生活交通確保維持改善計画とは

生活交通の存続が危機に瀕している地域等において、地域特性や実情に応じた最適な生活交通ネットワークを確保・維持するため、幹線バス等の地域間交通ネットワークと密接な地域内のバス交通・デマンド交通の運行について国が支援していくものです。

本市は北小野線に係る北小野地区の一部が該当し、北小野線に対して国の補助メニューの1つである地域公共交通確保維持改善事業費補助金の1つである「地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金(通称:フィーダー補助)」を活用し、運行経費を補完していきます。

1. フィーダー補助の概要

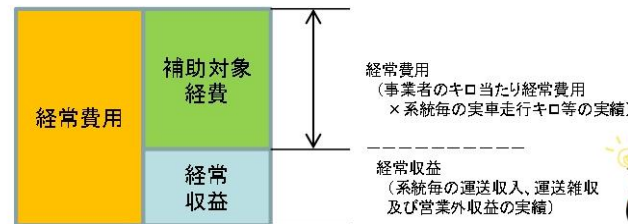
そもそも「フィーダー補助金」とは・・・??

- 正式名称は「地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金」(通称:フィーダー補助)
- 「地域公共交通確保維持改善事業費補助金」の補助メニューの1つ
- 幹線系統を補完する、赤字の支線(フィーダー)の運行経費に対する補助
- 補助対象事業者は**活性化法法定協議会**



補助率は・・・??

- 補助率は補助対象経費※1の1/2
- ※1 補助対象系統に係る経常費用から経常収益を控除した額
- **ただし、自治体毎に設けられる補助上限額と補助対象経費の1/2を比較し、金額が低い方が最終的な補助金額となる**
- 自治体毎の補助上限額については毎年(9月頃)発出される通知文の算定式を基に算出



補助対象経費算定方法 イメージ

赤字(経常費用>経常収益)の系統に対する補助金です。
(系統毎に判断するため、運行事業者の事業全体の収支状況が赤字であることは要件ではありません!)

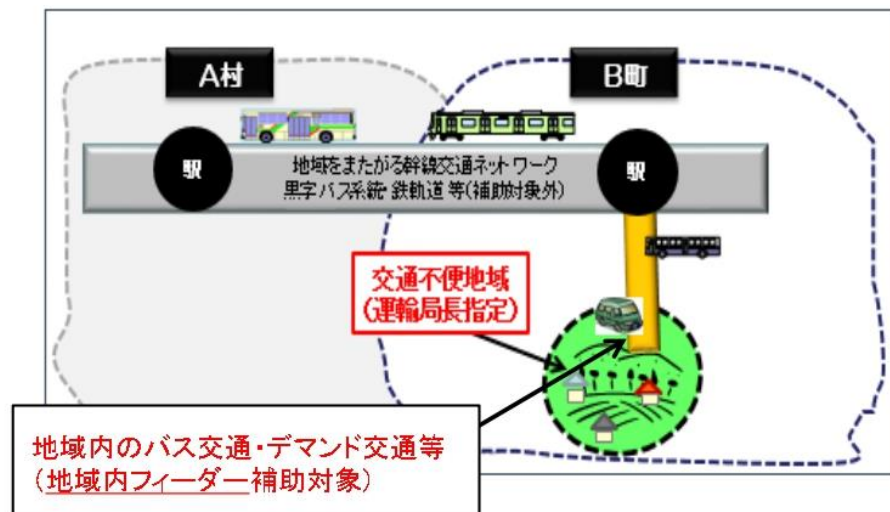
国交省作成:「フィーダー補助の基礎について」より抜粋

1. フィーダー補助の概要

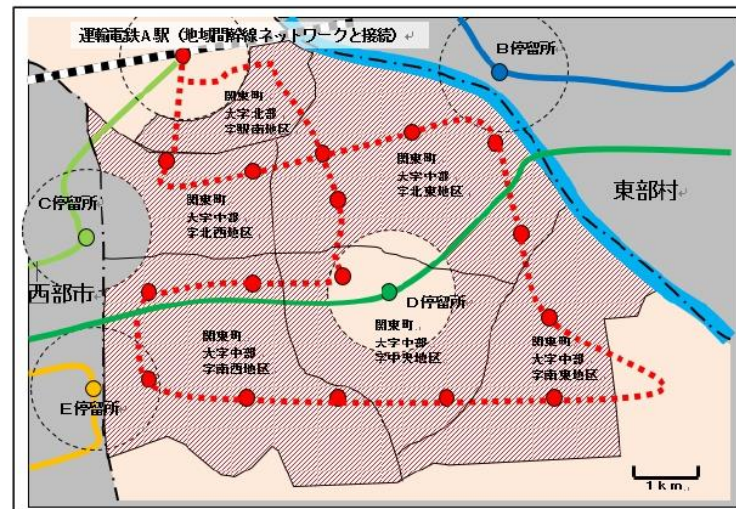
接続性要件②(2): 地方運輸局長等が指定する交通不便地域を通り、地域間交通ネットワークと接続するものであること

- 運輸局長指定の交通不便地域とは、フィーダー系統の利用を前提とする地域であって、半径1キロメートル以内にバスの停留所、鉄軌道駅、海港及び空港等が存しない地域
- 指定を受けた交通不便地域を通り、地域間交通ネットワークと接続するものが対象

局長指定の交通不便地域における地域間交通ネットワークへの接続イメージ図



局長指定の交通不便地域のイメージ図( = 交通不便地域)



運輸局長指定の交通不便地域の詳細については、各運輸支局にご相談ください！



国交省作成:「フィーダー補助の基礎について」より抜粋

国土交通大臣 殿

氏名又は名称	塩尻市地域公共交通会議
住 所	塩尻市大門七番町 3 番 3 号
代 表 者 氏 名	会 長 塩尻市長 百 瀬 敬

地域公共交通計画認定申請書

地域公共交通計画のうち、地域公共交通確保維持事業に係る計画を別紙のとおり定めたので、関係書類を添えて申請します。

※本申請書に、記載すべき事項を全て記した地域公共交通計画を添付すること。

生活交通確保維持改善計画（地域内フィーダー系統確保維持計画を含む）

令和6年6月25日

（名 称）塩尻市地域公共交通会議

（代表者名）会長 塩尻市長 百 瀬 敬

1. 地域公共交通確保維持事業に係る目的・必要性

塩尻市では、民間路線バスが次々に廃止される中で、中心市街地の活性化の促進と併せ、車を運転できない高齢者等交通弱者の移動を支援する目的で平成11年から「塩尻市地域振興バス」を運行し、市民のニーズに対応するため、これまで様々な変更を加えてきた。

現在、本市が運営する地域振興バスは、JR塩尻駅前バス乗場を中心として、公共施設や病院等を結ぶ5路線で、高齢者等を中心に生活に不可欠な交通として機能している。

北小野地区はJR小野駅があるものの、地区の一部は駅から1km以上離れている集落で地域振興バス路線がなければ交通不便地域となっている。

また、市街地周辺に比べ中山間地域の老年人口割合が高くなる傾向が顕著に出ており、今後、その生活支援としての交通手段の確保・維持が重要な課題となっている。

このため、勝弦線（市町村運営有償運送・平成23年度をもって廃止）に替わり、交通空白地域である北小野地区（上田、宮前、古町、勝弦）を経路に含む北小野線（平成24年度より運行開始）を運行することによって、公共交通空白地域の解消を図りながら、効率的で持続可能な地域内交通を確保・維持するとともに、JR塩尻駅及びJR小野駅（地域間交通ネットワーク）に接続することにより、広域的な移動手段を確保することを目的とする。

2. 地域公共交通確保維持事業の定量的な目標・効果

（1）事業の目標

北小野線はJR塩尻駅前を起点とし、北小野地区やJR小野駅を経由する経路を1日4回運行する。（平成24年10月から本格運行を開始）

利用者数においては、令和5年度事業（令和4年10月～令和5年9月）は目標値として1回あたりの乗車人数10人、年間利用者数11,640人と設定したが、実績としては1回あたりの平均乗車人数8.6人、利用者数10,063人と計画に位置付けられた目標値を下回る結果となった。

今後もフリー降車制度の周知を市の広報紙を通じて継続して行うほか、今後の最適なダイヤ編成に向けて住民意見交換会を開催し利用者や地域住民の声を収集していく予定である。しかし、前年度の結果を踏まえて今年度は更なる利用者の減少を食い止めることを目標に「1回あたりの利用者数8人、年間利用者数9,440人」を目標値とする。

収入及び本市の支出負担額に係る目標値においては、収入は年間利用者数の目標値を基本とした90万円、支出負担額は前年度と同水準である650万円とそれぞれ設定する。

また、収支率においては前年が10.7%であったことを踏まえ、今年度も同水準を目標値として設定する。

【塩尻市地域公共交通計画：76ページ～78ページに記載】

（2）事業の効果

当該路線を維持することにより、交通空白地域が解消され、高齢者等の日常生活に必要な移動手段が確保されるとともに、地域間交通ネットワークとの接続により、広域的な移動手段が確保される。

3. 2. の目標を達成するために行う事業及びその実施主体

●実施事業

- ・地域振興バス全路線の運行経路図及び運行時刻表の作成・配布
- ・利用状況を分析するとともに、利用者アンケート等を参考に利便性向上につながる施策や運行経路、ダイヤ見直し
- ・高齢者運転免許証自主返納支援事業による公共交通の利用促進
- ・「塩尻市地域公共交通計画」に位置付ける取り組み施策の推進
- ・公共交通に係る課題分析や今後のビジョンを明確にするための住民意見交換会を開催
- ・交通安全運動に付随したバスの乗り方教室の開催

●実施主体

- ・塩尻市地域公共交通会議

4. 地域公共交通確保維持事業により運行を確保・維持する運行系統の概要及び運送予定者

地域公共交通確保維持改善事業費補助金交付要綱「表1」を添付

- ・運行系統の概要及び運行事業者

運行系統名	北小野線
系統区間	(勝弦先廻り) 塩尻駅前～塩尻東保育園前～塩嶺別荘地北～勝弦詰所前～小野駅～小野駅西～塩尻東保育園前～塩尻駅前 (古町先廻り) 塩尻駅前～塩尻東保育園前～小野駅西～小野駅～勝弦詰所前～塩嶺別荘地北～塩尻東保育園前～塩尻駅前
回数／日	4回
運行事業者	アルピコタクシー（株）

- ・運行経路図及び運行時刻表を添付
- ・運行予定者

運行予定者であるアルピコタクシー（株）（平成28年4月、信州アルピコタクシー（株）と合併）は、平成26年10月1日にアルピコ交通（株）から当該路線を引き継いで運行を開始したが、バス営業所、車両、乗務員等一式を引き継ぎ、過去に当該地域を運行経路に含む路線バスを運行していたことから当該地区の地域特性（冬期間における降雪・積雪時の安全輸送や緊急時に対する代替ルートなどの道路網を熟知）に対し技術・知識を有している。

また、既存の塩尻市地域振興バスを運行しているため、現有車両による効率的運用ができることや地場産業の育成支援等の内容を総合的に検討し、協議会での協議を経て決定した。

5. 地域公共交通確保維持事業に要する費用の総額、負担者及びその負担額

地域公共交通確保維持事業によって運行の維持を図る北小野線について、塩尻市から運行事業者への補助金額は運賃収入及び国庫補助金を運行経費から差し引いた差額分を負担することとしている。

6. 2. の目標・効果の評価手法及び測定方法

- ・利用者数や利用者傾向を把握するためのOD調査（車内聞き取り含む）
- ・利用者実態を把握するためのアンケート調査
- ・公共交通に係る課題分析や今後のビジョンを明確にするための住民意見交換会を開催

7. 別表 1 の補助対象事業の基準ホただし書に基づき、協議会が平日 1 日当たりの運行回数が 3 回以上で足りると認めた系統の概要 【地域間幹線系統のみ】
※該当なし
8. 別表 1 の補助対象事業の基準ニに基づき、協議会が「広域行政圏の中心市町村に準ずる生活基盤が整備されている」と認めた市町村の一覧 【地域間幹線系統のみ】
※該当なし
9. 生産性向上の取組に係る取組内容、実施主体、定量的な効果目標、実施時期及びその他特記事項 【地域間幹線系統のみ】
※該当なし
10. 地域公共交通確保維持改善事業を行う地域の概要 【地域内フィーダー系統のみ】
表 5 を添付
11. 車両の取得に係る目的・必要性 【車両減価償却費等国庫補助金・公有民営方式車両購入費国庫補助金を受けようとする場合のみ】
※該当なし
12. 車両の取得に係る定量的な目標・効果 【車両減価償却費等国庫補助金・公有民営方式車両購入費国庫補助金を受けようとする場合のみ】
(1) 事業の目標
※該当なし
(2) 事業の効果
※該当なし
13 車両の取得計画の概要及び車両の取得を行う事業者又は地方公共団体、要する費用の総額、負担者とその負担額 【車両減価償却費等国庫補助金・公有民営方式車両購入費国庫補助金を受けようとする場合のみ】
※該当なし
14. 老朽更新の代替による費用の削減等による地域公共交通確保維持事業における収支の改善に係る計画（車両の代替による費用削減等の内容、代替車両を活用した利用促進策） 【公有民営方式車両購入費国庫補助金を受けようとする場合のみ】
※該当なし

15. 貨客混載の導入に係る目的・必要性

【貨客混載導入経費国庫補助金を受けようとする場合のみ】

※該当なし

16. 貨客混載の導入に係る定量的な目標・効果

【貨客混載導入経費国庫補助金を受けようとする場合のみ】

(1) 事業の目標

※該当なし

(2) 事業の効果

※該当なし

17. 貨客混載の導入に係る計画の概要、要する費用の総額、内訳、負担者及び負担額 **【貨客混載導入経費国庫補助金を受けようとする場合のみ】**

※該当なし

18. 協議会の開催状況と主な議論

- 第24回 令和3年6月25日（令和3年度 第1回）
・生活交通確保維持改善計画について協議、承認
- 第25回 令和3年12月21日（令和3年度 第2回）
・令和3年度事業評価について協議、承認
- 第26回 令和4年2月1日（令和3年度 第3回）
・生活交通確保維持改善計画の変更について協議・承認
- 第27回 令和4年6月27日（令和4年度 第1回）
・生活交通確保維持改善計画について協議、承認
- 第28回 令和4年12月22日（令和4年度 第2回）
・令和4年度事業評価について協議、承認
- 第30回 令和5年7月6日（令和5年度 第1回）
・生活交通確保維持改善計画について協議、承認
- 第31回 令和5年12月25日（令和5年度 第2回）
・令和5年度事業評価について協議、承認

19. 利用者等の意見の反映状況

ダイヤ改正や経路見直しを行う際は、車内聞き取り調査を含めたOD調査及びアンケート調査を実施するとともに、各地区で説明会を実施し意見聴取を行い、塩尻市地域公共交通会議において検討、反映している。

地域公共交通計画を策定するにあたっては、上記に加えて福祉、教育、観光の各部門より現状を聴取し意見を反映するとともに、利用実態の少ない高校生を対象にアンケート調査を実施しニーズの把握や利用促進策を検討した。

【本計画に関する担当者・連絡先】

(住 所) 長野県塩尻市大門七番町3番3号

(所 属) 塩尻市建設部都市計画課計画係

(氏 名) 辰野 裕

(電 話) 0263-52-0280 (内線 1241)

(e-mail) toshi@city.shiojiri.lg.jp

表1 地域公共交通確保維持事業により運行を確保・維持する運行系統の概要及び運送予定者(地域内フィーダー系統)

R7年度

市区町村名	運送予定者名	運行系統名等 (申請番号)	運行系統			系統 キロ程	計画 運行 日数	計画 運行 回数	利便 増進 特例 措置	運送 継続 特例 措置	地域内フィーダー系統の基準適合 (別表7・別表9・別表10)			
			起点	経由地	終点						運行態様の別	基準ハで該 当する要件 (別表7・9)	補助対象地域間幹 線系統等と接続の 確保	基準ホで該 当する要件 (別表7のみ)
塩尻市	アルピコタクシー株式会社	(1) 北小野線 古町先回り	塩尻駅	小野駅	塩尻駅	往 31.87 km 復 km	295日	590回			路線定期運行	②(2)	地域間交通ネットワーク JR中央本線塩尻駅に接続	③
		(2) 北小野線 勝弦先回り	塩尻駅	小野駅	塩尻駅	往 31.87 km 復 km	295日	590回			路線定期運行	②(2)	地域間交通ネットワーク JR中央本線塩尻駅に接続	③
		(3)				往 km 復 km	日	回						
		(4)				往 km 復 km	日	回						
		(5)				往 km 復 km	日	回						

(注)

1. 乗用タクシーによる運行の場合は、「運行系統名等」に運賃低廉化を行う運行サービスの名称を記載すること。
2. 区域運行又は乗用タクシーによる運行の場合は、運行系統の「経由地」に営業区域又は運賃低廉化対象地域を記載することとし、「起点」、「終点」及び「系統キロ程」について記載を要しない。
3. 「系統キロ程」については、小数点第1位(第2位以下切り捨て)まで記載すること。なお、循環系統の場合には、往又は復のどちらかの欄にキロ程を記載し、もう片方の欄に「循環」と記載すること。
4. 「利便増進特例措置」及び「運送継続特例措置」については、利便増進計画又は運送継続計画の認定を受け、地域内フィーダー系統に係る特例措置の適用(別表9又は別表10)を受けて補助対象となる場合のみ「○」を記載。
5. 「運行態様の別」については、路線定期運行、路線不定期運行、区域運行、乗用タクシーによる運行の別を記載すること。
6. 「補助対象地域間幹線系統等と接続の確保」については、地域内フィーダー系統が接続する補助対象地域間幹線系統又は地域間交通ネットワークとどのように接続を確保するかについて記載すること。
7. 乗用タクシーによる運行の場合は、「運行系統名」「利便増進特例措置」について記載を要しない。
8. 本表に記載する運行予定系統を示した地図及び運行ダイヤを添付すること。乗用タクシーによる運行の場合は、営業区域を示した地図を添付すること。

表5 地域公共交通確保維持改善事業を行う地域の概要

市区町村名	塩尻市
-------	-----

(単位:人)

	人 口
人口集中地区以外	
交通不便地域等	1,111

交通不便地域等の内訳

人 口	対象地区	根拠法
1,111	古町地区の一部、大出地区の一部、宮前地区の一部、上田地区の一部、勝弦地区の一部	局長指定

地域公共交通計画、地域公共交通利便増進実施計画、地域旅客運送サービス継続実施計画の策定年月日及び特例適用開始年度

計画名	策定年月日	特例適用開始年度
塩尻市地域公共交通計画	令和3年7月1日	令和4年度

(1) 記載要領

1. 人口は最新の国勢調査結果を基に記載すること。ただし、地方運輸局長等が指定する交通不便地域の場合は、申請する年度の前年度の3月末現在の住民基本台帳を基に記載すること。
2. 「人口集中地区以外」の欄は、国勢調査結果により設定された人口集中地区に該当しない地区の人口を記載すること。
3. 「交通不便地域等」の欄は、地域公共交通確保維持改善事業費補助金交付要綱（以下、「交付要綱」という。）の別表7（ハ②（1））に記載のある過疎地域の人口、交付要綱別表7（ハ②（2）（実施要領の2.（1）⑪））に基づき地方運輸局長等が指定する交通不便地域の人口及び交付要綱別表7リに基づき地方運輸局長等が認める地域の合計（重複する場合を除く）を記載すること。
4. 「対象地区」の欄には、当該市町村の一部が交付要綱別表7（ハ②（1））に掲げる法律（根拠法）に基づき地域指定されている場合に、根拠法ごとに当該区域の旧市町村名等を記載すること。また、地方運輸局長等が指定する交通不便地域等が存在する場合には、該当する区域名を記載すること。
5. 「根拠法」の欄は、交通不便地域を地方運輸局長等が指定した場合は、「局長指定」と記載すること。また、乗用タクシー以外での輸送が著しく困難であるものとして地方運輸局長等が認めた場合は、「局長指定（乗用）」と記載すること。
6. 「特例適用開始年度」の欄は、地域公共交通利便増進実施計画又は地域旅客運送サービス継続実施計画を策定し、特例を適用する場合に記載すること。

(2) 添付書類

1. 「人口集中地区以外の地区」及び「交通不便地域等」の区分が分かる地図を添付すること。（ただし、全域が交通不便地域等となる場合には省略可）

塩尻市地域公共交通計画

地域公共交通確保維持事業（地域内フィーダー系統）に関する記載箇所一覧表

1. 地域公共交通確保維持事業により運行を確保・維持する運行系統の地域の公共交通における位置づけ・役割
塩尻市地域公共交通計画 P52～54、P56～58
2. 前号を踏まえた地域公共交通確保維持事業の必要性
塩尻市地域公共交通計画 P44、P52～54
3. 地域公共交通確保維持事業により運行を確保・維持する運行系統に係る事業及び実施主体の概要
塩尻市地域公共交通計画 P33、P57～58、P72
4. 地域公共交通計画の区域内全体における地域旅客運送サービスの利用者の数、収支、費用に係る国又は地方公共団体の支出の額その他の定量的な目標・効果及びその評価手法
塩尻市地域公共交通計画 P76～78

地域内フィーダー系統確保維持事業(路線型)運行便数算出表(令和6年10月～令和7年9月)

自治体名		塩尻市				事業者名		アルピコタクシー株式会社				申請番号		1		運行系統名		北小野線(古町先廻り)												計画実車キロ				
系統キロ程(往路)		31.87 km		系統キロ程(復路)		km		循環系統の別		循環系統		計画運行日数		295日		計画運行回数		590.0回		実績運行日数		日		実績運行回数		0.0回		18,803.3km						
		:土曜				:日曜		:祝日																										
		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	合計	
R6年 10月	曜日	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	月計	累計
	計画運行回数	往路	2	2	2	2	2		2	2	2	2	2			2	2	2	2	2		2	2	2	2	2		2	2	2	2	52	52	
		復路																															0	0
	実績運行回数	往路																																0
復路																																	0	0
11月	曜日	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土		月計	累計
	計画運行回数	往路	2	2			2	2	2	2	2		2	2	2	2	2		2	2	2	2	2	2		2	2	2	2	2	2		50	102
		復路																																0
	実績運行回数	往路																																
復路																																	0	0
12月	曜日	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	月計	累計
	計画運行回数	往路		2	2	2	2	2		2	2	2	2	2	2		2	2	2	2	2	2		2	2	2	2	2	2				48	150
		復路																																0
	実績運行回数	往路																																0
復路																																	0	0
R7年 1月	曜日	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	月計	累計
	計画運行回数	往路				2	2	2	2	2	2	2		2	2	2	2	2		2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	46	196
		復路																																0
	実績運行回数	往路																																0
復路																																	0	0
2月	曜日	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金			月計	累計	
	計画運行回数	往路	2		2	2	2	2	2		2		2	2	2	2		2	2	2	2	2	2		2	2	2	2			44	240		
		復路																													0	0		
	実績運行回数	往路																													0	0		
復路																														0	0			
3月	曜日	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	月計	累計
	計画運行回数	往路	2		2	2	2	2	2		2	2	2	2	2	2		2	2	2		2	2		2	2	2	2	2	2	2	2	50	290
		復路																															0	0
	実績運行回数	往路																																0
復路																																	0	0

自治体名				塩尻市				事業者名				アルピコタクシー株式会社				申請番号				1				運行系統名				北小野線(古町先廻り)								計画実車キロ	
系統キロ程(往路)				31.87 km				系統キロ程(復路)				km				循環系統の別		循環系統		計画運行日数		295日		計画運行回数		590.0回		実績運行日数		日		実績運行回数		0.0回		18,803.3km	
				:土曜				:日曜				:祝日																				合計					
		曜日		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31			
4月	計画運行回数	往路	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水		月計	累計		
		復路																																	50	340	
	実績運行回数	往路																																		0	0
		復路																																		0	0
		往路																																		0	0
5月	計画運行回数	往路	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	月計	累計		
		復路	2	2	2				2	2	2	2		2	2	2	2	2	2		2	2	2	2	2	2		2	2	2	2	2	2	50	390		
	実績運行回数	往路																																	0	0	
		復路																																	0	0	
		往路																																	0	0	
6月	計画運行回数	往路	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月		月計	累計		
		復路		2	2	2	2	2	2		2	2	2	2	2	2		2	2	2	2	2	2		2	2	2	2	2	2	2	2		50	440		
	実績運行回数	往路																																		0	0
		復路																																		0	0
		往路																																		0	0
7月	計画運行回数	往路	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	月計	累計		
		復路	2	2	2	2	2		2	2	2	2	2	2		2	2	2	2	2	2		2	2	2	2	2		2	2	2	2	52	492			
	実績運行回数	往路																																	0	0	
		復路																																	0	0	
		往路																																	0	0	
8月	計画運行回数	往路	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月計	累計		
		復路	2	2		2	2	2	2	2	2		2	2	2	2	2		2	2	2	2	2	2		2	2	2	2	2	2	2	50	542			
	実績運行回数	往路																																	0	0	
		復路																																	0	0	
		往路																																	0	0	
9月	計画運行回数	往路	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火		月計	累計		
		復路	2	2	2	2	2	2		2	2	2	2	2	2		2	2	2	2	2	2		2	2	2	2	2		2	2	48		590			
	実績運行回数	往路																																		0	0
		復路																																		0	0
		往路																																		0	0

◆地域公共交通計画又は生活交通確保改善計画(地域内フィーダー系統確保維持計画)認定申請に使用する際の注意点

1. 「申請番号」「運行系統名」「系統キロ程(往路)」「系統キロ程(復路)」の欄については、申請する地域公共交通計画又は生活交通確保改善計画(地域内フィーダー系統確保維持計画)に記載されたとおり転載すること。
2. 各月については計画回数のみ記載すること。

◆地域公共交通計画又は生活交通確保改善計画(地域内フィーダー系統確保維持計画)交付申請に使用する際の注意点

1. 「申請番号」「運行系統名」「系統キロ程(往路)」「系統キロ程(復路)」の欄については、認定された地域公共交通計画又は生活交通確保改善計画(地域内フィーダー系統確保維持計画)に記載されたとおり転載すること。
2. 計画運行回数と実績運行回数が相違している場合、実績運行回数欄の色が黄色で表示される。

地域内フィーダー系統確保維持事業(路線型)運行便数算出表(令和6年10月～令和7年9月)

自治体名				塩尻市				事業者名				アルピコタクシー株式会社				申請番号		1		運行系統名				北小野線(勝弦先廻り)											計画実車キロ		
系統キロ程(往路)				31.87 km				系統キロ程(復路)				km				循環系統の別		循環系統		計画運行日数		295日		計画運行回数		590.0回		実績運行日数		日		実績運行回数		0.0回		18,803.3km	
				:土曜				:日曜				:祝日																									
		曜 日		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	合計		
R6年 10月	計画運行回数	往路	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	月計	累計		
		復路																																0	0		
	実績運行回数	往路																																	0	0	
		復路																																	0	0	
	11月	計画運行回数	往路	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土		月計	累計	
復路			2	2			2	2	2	2	2		2	2	2	2	2	2		2	2	2	2	2	2		2	2	2	2	2	2	50		102		
実績運行回数		往路																																	0	0	
		復路																																	0	0	
12月		計画運行回数	往路	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月		火	月計	累計
	復路			2	2	2	2	2	2		2	2	2	2	2	2		2	2	2	2	2	2		2	2	2	2	2	2				48	150		
	実績運行回数	往路																																	0	0	
		復路																																0	0		
	R7年 1月	計画運行回数	往路	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	月計	累計	
復路						2		2	2	2	2	2	2		2	2	2	2	2		2	2	2	2	2	2		2	2	2	2	2	46	196			
実績運行回数		往路																																0	0		
		復路																																0	0		
2月		計画運行回数	往路	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金			月計	累計		
	復路		2		2	2	2	2	2	2		2		2	2	2		2	2	2	2	2	2		2	2	2	2	2	44	240						
	実績運行回数	往路																																0	0		
		復路																																0	0		
	3月	計画運行回数	往路	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	月計	累計	
復路			2		2	2	2	2	2	2		2	2	2	2	2		2	2	2		2	2		2	2	2	2	2	2	2	2	50	290			
実績運行回数		往路																																0	0		
		復路																																0	0		

自 治 体 名	塩尻市			事 業 者 名		アルピコタクシー株式会社		申 請 番 号		1		運 行 系 統 名		北小野線(勝弦先廻り)					計画実車キロ											
系 統 キ ロ 程 (往 路)	31.87		km	系 統 キ ロ 程 (復 路)				km	循環系統の別		循環系統		計画運行日数		295日		計画運行回数		590.0回		実績運行日数		日		実績運行回数		0.0回		18,803.3km	

		:土曜				:日曜				:祝日																				合計				
		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31		
4月	曜日	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水		月計	累計
	計画運行回数	往路	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	50		340	
	復路																														0		0	
	実績運行回数	往路																													0		0	
復路																															0	0		
5月	曜日	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	月計	累計
	計画運行回数	往路	2	2	2			2	2	2	2		2	2	2	2	2	2		2	2	2	2	2	2		2	2	2	2	2	50	390	
	復路																															0	0	
	実績運行回数	往路																														0	0	
復路																																0	0	
6月	曜日	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月		月計	累計
	計画運行回数	往路		2	2	2	2	2		2	2	2	2	2	2		2	2	2	2	2	2		2	2	2	2	2	2		2		50	440
	復路																																0	0
	実績運行回数	往路																															0	0
復路																																0	0	
7月	曜日	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	月計	累計
	計画運行回数	往路	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2		2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	52	492	
	復路																															0	0	
	実績運行回数	往路																														0	0	
復路																																0	0	
8月	曜日	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月計	累計
	計画運行回数	往路	2	2		2	2	2	2	2		2	2	2	2	2	2		2	2	2	2	2	2		2	2	2	2	2	2	50	542	
	復路																															0	0	
	実績運行回数	往路																														0	0	
復路																																0	0	
9月	曜日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火		月計	累計
	計画運行回数	往路	2	2	2	2	2		2	2	2	2	2	2		2	2	2	2	2	2		2	2	2	2	2		2	2	48		590	
	復路																																0	0
	実績運行回数	往路																															0	0
復路																																0	0	

◆地域公共交通計画又は生活交通確保改善計画(地域内フィーダー系統確保維持計画)認定申請に使用する際の注意点

1. 「申請番号」「運行系統名」「系統キロ程(往路)」「系統キロ程(復路)」の欄については、申請する地域公共交通計画又は生活交通確保改善計画(地域内フィーダー系統確保維持計画)に記載されたとおり転載すること。
2. 各月については計画回数のみ記載すること。

◆地域公共交通計画又は生活交通確保改善計画(地域内フィーダー系統確保維持計画)交付申請に使用する際の注意点

1. 「申請番号」「運行系統名」「系統キロ程(往路)」「系統キロ程(復路)」の欄については、認定された地域公共交通計画又は生活交通確保改善計画(地域内フィーダー系統確保維持計画)に記載されたとおり転載すること。
2. 計画運行回数と実績運行回数が相違している場合、実績運行回数欄の色が黄色で表示される。

協議案件(3)

地域振興バス『すてっぷくん』
ダイヤ改正及び経路
見直し方針(案)について

1. ダイヤ改正実施に係る背景・ポイント

- ✓ 利用者ニーズの多様化や道路事情、鉄道路線網等の変化に対応するため、塩尻市では概ね3～4年に1回の頻度で地域振興バス『すてっぷくん』のダイヤ改正及び経路の見直しを行なっています。
- ✓ 前回の改正を令和4年5月に行い、塩尻市地域公共交通計画で位置付けた令和8年4月からの新ダイヤでの運行開始に向け、今年度からダイヤ改正作業に着手します。
- ✓ ダイヤ改正に向けて、令和6年度は利用者や地元住民の意見を聴取する年に位置付け、意見交換会やOD調査などを実施する予定です。令和6年度に聴取した意見を踏まえて令和7年度から具体的な変更案の作成を行っていきます。
- ✓ ダイヤ改正を行うにあたって、公共交通全般に着目し、地区ごとに今後の公共交通の目指す姿をお聞きし、その内容を踏まえて「すてっぷくん」の最適な運行を検討していきます。
- ✓ 今回のダイヤ改正は既存のダイヤ及び経路をベースとしつつ、地域公共交通計画に記載する方針や令和4年より本格運行を行っている『のるーと塩尻』との整合性を踏まえた見直しを実施します。

2. 令和6年度に実施する調査等

乗降拠点調査(OD調査)

- 目的
利用者の乗降バス停及び目的地を把握し、路線ごとの移動実態及びバス停の利用頻度を可視化する
- 対象者 地域振興バス『すてっぷくん』利用者
- 実施方法
全6路線の全便を対象として調査員が乗り込みを行い、直接ヒアリングを実施
＜ヒアリング内容(案)＞
 - ・乗降バス停及び目的地調査 ・利用頻度 ・利用目的
 - ・バス停位置、運行経路、ダイヤの改善要望(電車との乗り継ぎ等)

アンケート調査

- 目的 利用者の意見を把握する(利用頻度、バス停、運行経路、ダイヤ等の改善点など)
- 対象者 地域振興バス『すてっぷくん』利用者
(乗降拠点調査で意見聴取できなかった部分を補完するイメージ)
- 実施方法
各支所及び市内関係施設並びにバス車内等にアンケート用紙、回収箱を設置し利用者から回答をいただく

2. 令和6年度に実施する調査等

住民意見交換会

➤ 目的

- ・各地区の公共交通全般に対する現状を聴取し課題を整理する
- ・各地区の公共交通の目指す姿をまとめ、ダイヤ改正の具体案作成に活用していく

➤ 対象地域

地域振興バス『すてっぷくん』運行路線に該当する地区（檜川、北小野、洗馬、宗賀）

＊片丘地区においては今年度よりのるーと塩尻の実証運行を行うため開催しない

➤ 実施方法

- ・各地区の参加者へ向けてすてっぷくんの現状を報告
- ・都市計画課で素案を作成し、その内容を中心とした意見交換会を実施（方式は今後検討）



檜川地区住民意見交換会(R3実施)

運転手ヒアリング

➤ 目的

- ・現場レベルでの現行の課題や見直し要望を聴取する
- ・ヘビーユーザーの利用状況や要望を把握する

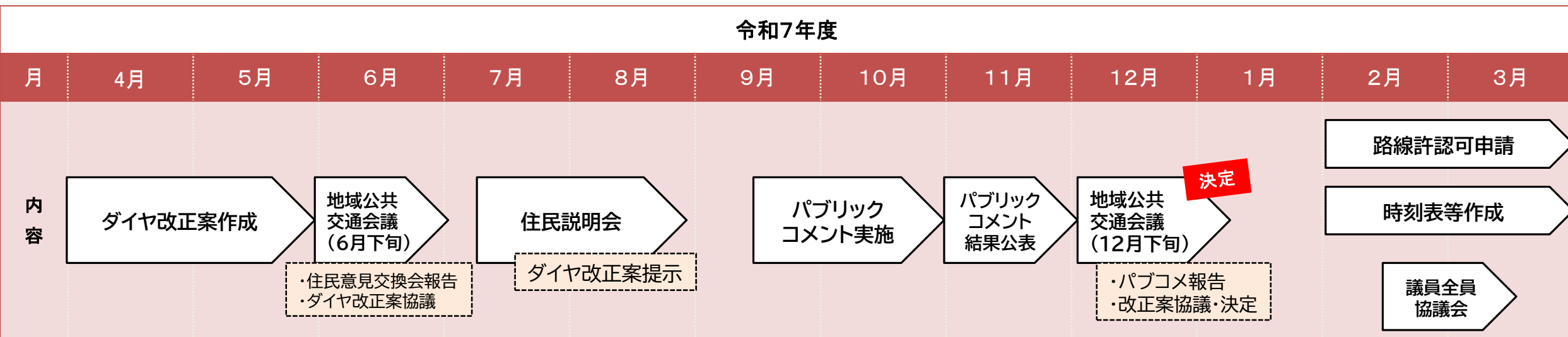
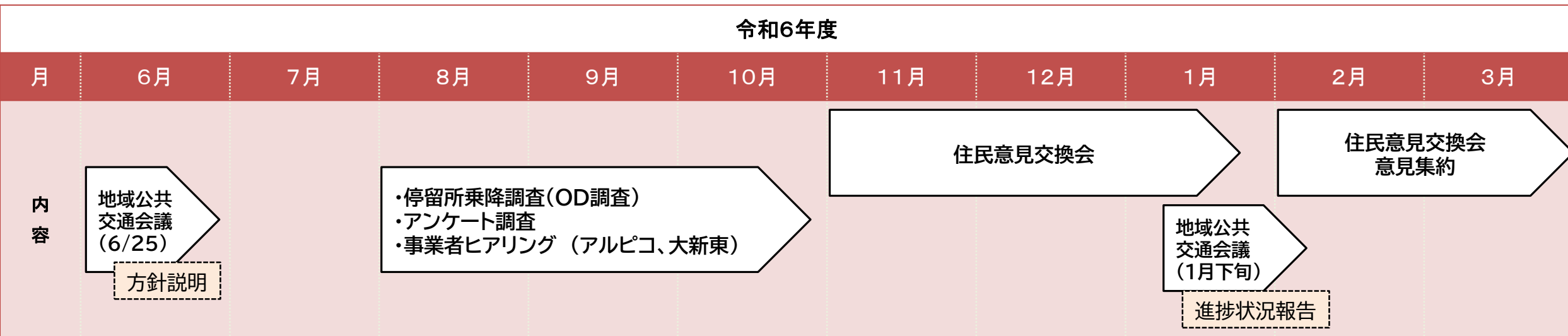
➤ 対象者

- ・アルピコタクシー株式会社 ・大新東株式会社

➤ 実施方法

運行業務を委託している2社の運行管理者及び運転手より聞き取りを行う

3. ダイヤ改正及び経路見直しに係るスケジュール(案)



令和8年4月～新ダイヤにて運行開始